

ゆめづくい
事例集
2017

編集：呉市



まちづくり活動に積極的に取り組まれている地域の皆さんの活動状況をまとめた「ゆめづくり事例集」。2012年から始まり、今回で6冊目となった2017年度版をお届けします。

それぞれのまちづくり委員会等において、特色ある資源を活かした地域の活性化や、地域の皆さんが抱える課題の解決に向けて、何をしたらいいか、また、どのように工夫すればいいかなど、地域の皆さん自身が考え、行動されている様子を紹介しています。

地域の皆さんの手で育まれ、さらに地域の絆が強まるとともに、より一層、様々な広がりを見せているこれらの事例をご覧いただき、自分たちの取組と比べてみたり、新しい取組を考える際のヒントにしたりと、大いに活用していただければと思います。

ゆめづくり事例集2017 目次

No	事業名	団体名
1	ふれあい朝市	第2地区まちづくり委員会
2	バケツ稲栽培事業	第2地区まちづくり委員会
3	第16回 みずとひ祭り	第2地区まちづくり委員会
4	Good-bye2017昔遊び・餅つき交流フェスタ	第2地区まちづくり委員会
5	第3地区ふれあいラジオ体操	第3地区まちづくり委員会
6	第3地区冬まつり・子どもまちづくり事業	第3地区まちづくり委員会
7	長迫公園（旧海軍墓地）清掃活動	第4地区まちづくり委員会
8	盆踊り大会（参加促進支援事業）	第4地区まちづくり委員会
9	第4地区敬老会	第4地区社会福祉協議会
10	防犯パトロール大会	第4地区まちづくり委員会
11	区域内防災訓練と防災備品整備	第5地区まちづくり委員会
12	呉市の歴史と文化を訪ねて～豊町御手洗地区～研修バスツアー	第5地区まちづくり委員会
13	第6地区夏まつり	第6地区まちづくり委員会
14	第6地区敬老会	第6地区社会福祉協議会
15	災害時協定の締結・総合防災訓練	第6地区まちづくり委員会
16	第8回 まるごと・中央地区ウォーキング大会	くれ中央地区まちづくり委員会
17	第8回 くれ中央夏まつり（くれ絆盆踊り大会）	くれ中央地区まちづくり委員会
18	荘山田小学校地域合同防災訓練	第5地区、くれ中央地区まちづくり委員会
19	ふれあいまつり（夏まつり・盆踊り）	第8地区まちづくり委員会
20	とんど祭り	第8地区まちづくり委員会及び 第8地区社会福祉協議会

No	事業名	団体名
21	ふれあい広場三条運営事業	三条地区まちづくり委員会
22	八畳岩登山（登山道整備登山）	三条地区まちづくり委員会
23	地域住民・両城小学校生徒合同防災訓練	両城・三条地区自主防災会
24	川原石地区盆踊り大会	川原石地区まちづくり委員会
25	川原石地区合同防災訓練	川原石地区まちづくり委員会
26	川原石地区敬老会	川原石地区社会福祉協議会及び 川原石地区まちづくり委員会
27	第8地区・三条地区・川原石地区「第21回町民運動会」	第8地区、三条地区 及び 川原石地区自治会連合会
28	中央地域成人式	中央地域成人式実行委員会
29	第27回 詩歌創作大会	吉浦まちづくり委員会
30	第12回 吉浦地区防災訓練	吉浦まちづくり委員会
31	よし浦まちづくり発見隊 フィールドワークin竹原	吉浦まちづくり委員会
32	第21回 警固屋さくら祭	警固屋まちづくり協議会
33	子ども避難体験事業	警固屋まちづくり協議会
34	地域貢献人材発掘育成事業	警固屋まちづくり協議会
35	まちづくり若者提案事業	阿賀まちづくり推進協議会
36	あがまち銘板事業	阿賀まちづくり推進協議会
37	今昔子どもふれあい大会	阿賀まちづくり推進協議会
38	第44回 広子ども祭	広まちづくり推進協議会
39	第69回 広地区教育祭	広まちづくり推進協議会
40	第14回 広地区クリーン活動	広まちづくり推進協議会

No	事業名	団体名
41	仁方地区自主防災会合同避難訓練	仁方町まちづくり推進協議会
42	仁方夏まつり	仁方町まちづくり推進協議会
43	「春が楽しみ！チューリップ」事業	仁方町まちづくり推進協議会
44	地域交流懇談会（仁方の福祉を考える会）	仁方町まちづくり推進協議会
45	「宮原ホタルの里・宮原ホタルまつり」	宮原地区まちづくり推進委員会
46	宮原地区合同防災訓練	宮原地区まちづくり推進委員会
47	鯉のぼりの吹き流し	天応まちづくり委員会
48	天応町納涼盆踊り大会	天応まちづくり委員会
49	「笹酒まつり」と「もちつき大会」	天応地区社会福祉協議会
50	第12回 昭和地区ふれあいフェスティバル	昭和地区ふれあいフェスティバル実行委員会
51	第1回きよみん夏祭り	きよみん夏祭り実行委員会
52	第2回昭和ふれあい移動動物園	昭和ふれあい移動動物園実行委員会
53	第11回クリスマスコンサート	昭和西女性会
54	平成29年昭和地区「成人の日」記念式典・記念行事	成人の日記念式典実行委員会
55	郷原町盆踊り大会	郷原町まちづくり推進委員会
56	ふれあい・いきいきサロン	郷原町まちづくり推進委員会
57	まる梶カーニバル2017	下蒲刈まちづくり協議会
58	いいところいっぱいじゃけえ かわじりMAPウォーク	川尻町まちづくり委員会
59	川尻町新成人を祝う会	川尻町新成人を祝う会実行委員会
60	川尻町敬老会	川尻町地区社会福祉協議会

No	事業名	団体名
61	かわじり元気まつり	川尻町元気まつり実行委員会
62	2017おんどフェスティバル	音戸町まちづくり協議会
63	トワイライトふれあいフェスタ	音戸町まちづくり協議会
64	第6回島コンin倉橋（広島県最南端で見つける恋）	宝島くらはしまちづくり協議会 お宝婚活部会
65	くらはし お宝朝市	宝島くらはしまちづくり協議会 お宝朝市部会
66	こどもチャレンジ教室	宝島くらはしまちづくり協議会
67	第17回 かまがり恵みフェア	蒲刈町まちづくり協議会
68	「地域おこし協力隊員へのメッセージ」PV作成事業	安浦町まちづくり協議会
69	安浦町 子どもまちづくり事業	安浦町まちづくり協議会
70	ビューティフルアイランド祭り	豊浜町まちづくり協議会
71	島めぐり事業（斎で島コン）	豊浜町まちづくり協議会
72	魔法のランプ事業	豊浜町まちづくり協議会
73	伝統的料理の教室	豊浜町まちづくり協議会
74	歩け歩けウォーキングコース 命名プロジェクト	豊浜町まちづくり協議会
75	広島国際大学との地域提携	豊浜町まちづくり協議会
76	第13回 豊町産業文化祭	豊町まちづくり協議会
77	第34回 豊町七夕納涼祭	豊町まちづくり協議会
78	豊町町民運動会	豊町まちづくり協議会

※ 市内で取り組まれたまちづくり活動243件（平成29年度当初件数）のうち、代表的な事業78件を紹介しています。

番号	1	団体名	第2地区まちづくり委員会	代表者	城 健康
事業名	ふれあい朝市			事業費	245,000円
事業の目的	<p>市町村合併を契機に地域内、地域間交流を目的に始めたふれあい朝市も今回で12回目を迎えました。現在では、多くの来場者で賑わうなど、夏はみずとひ祭り、冬はふれあい朝市と呼ばれるほど、地区内を代表するイベントとして定着し、地域の活性化に貢献しています。ふれあい朝市では、至る所であいさつや世間話を楽しむ光景が見られます。中には、朝市のおかげで、しばらく会っていなかった人に再会し話しができた方もおられます。今では、地区外から参加される方も多く、新たな交流が生まれています。</p>				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・日時 平成29年3月12日(日) 8時～12時 ・場所 元町公園(旧本通第3公園) ・内容 <ul style="list-style-type: none"> ・きねつき餅実演販売 ・地域ボランティアがつくった物品の販売(かき飯、とり飯、たらい寿し、たこ焼き、コロッケ、うどん、清水谷名水コーヒー等) ・子どもゲームコーナー設置 ・健康増進課による健康づくりコーナーの設置(血圧測定、健康相談及び減塩豚汁の炊き出し) ・来場者 約1,000名 <p>※参加促進のため、65歳以上の高齢者には1世帯300円の【元気券】を、また、小学生には1人300円の【子ども券】を配付しました。</p>				
この事業を企画・実施した人	<p>・第2地区まちづくり計画の大きな柱の一つである「わいわい地域交流」活動の一環として、女性会、民生委員児童委員、地域ボランティア等と話し合いながら企画立案しました。夏に開催する「みずとひ祭り」と同じように、地域全体が盛り上がるイベントになりました。</p>				
苦労した点	特にありません				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">ふれあい朝市の様子</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">ふれあい朝市の様子</p>				

番号	2	団体名	第2地区まちづくり委員会	代表者	城 健康
事業名	バケツ稲栽培事業			事業費	約100,000円
事業の目的	<p>日本の食文化の中心である米づくりを田植え（バケツ・プランターを使用）から体験し、米づくりの大切さ、難しさを学び、収穫された米と市販米との食べくらべを行う。子どもたちは市販の米は食べても、米ができる過程を知る機会がない。そこで、バケツ稲栽培を通して米ができる過程を体験してもらうことにした。バケツに稲を植える利点は、各自の責任で稲を育てられること、作業の苦勞を体験できること、身近な観察が可能であることが挙げられる。また、田植えに始まり、稲刈りを通して、地域の高齢者に教えてもらったり、一緒に作業を行うことにより世代間の交流が図られる。さらに、この体験を通じて食卓の食べ物に興味を持ち、一粒のお米の大切さに気づいてもらうなど稲作や農業について理解を深める。</p>				
事業概要	<p>日 時：平成29年6月4日（日） 10時～12時 場所：和庄小学校 体育館 グラウンド 内 容：バケツ稲栽培について指導員から説明（体育館） グラウンドで作業を行う 苗床用土の混合（黒土6，赤玉土3，鹿沼土1）後、肥料を混ぜ、用意したバケツ，プランターに入れる。 種まき，田植えしたバケツを各家庭に持ち帰り育てる。 （苗の移植→分けつ→中干し→開花→稲刈り 水温管理，スズメ対策等）</p> <p>日 時：平成29年10月22日（日） 10時～12時 場所：清水いきいきライフホーム 内 容：幸せの収穫祭 お米にする→脱穀（牛乳パックの中に穂を入れて引っばる） 個別に計量→まとめて精米→11月5日（日）ウォーキング大会後に栽培した米と市販米の食べくらべを行う。</p>				
この事業を企画・実施した人	<p>第2地区まちづくり委員会が、わいわい地域交流事業の一環として、地域住民の交流、地域間・世代間の交流を目的に企画、実施した。当事業には、和庄小学校の協力を得て実施した。</p>				
苦勞した点	<ul style="list-style-type: none"> ・台風対策，スズメ対策，病虫害対策，水温管理など 				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>バケツ稲栽培について説明</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>土の準備</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>バケツに田植え</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>栽培した米と市販米の食べくらべ</p> </div> </div>				

番号	3	団体名	第2地区まちづくり委員会	代表者	城 健康
事業名	第16回 みずとひ祭り			事業費	約300,000円
事業の目的	<p>第2地区まちづくり委員会では、人と人のふれあいを大切にし、活力あるまちづくりに資することを目的として、みずとひ祭り、ふれあい朝市などを実施してきました。その中でも夏に行われる「みずとひ祭り」は、子どもから高齢者まで、地域をあげて多くの人に参加するビッグイベントとして定着し賑わっています。今後も、地域内外から多くの人に参加し、人と人のつながりや新たな交流が広がるよう、内容を充実させることが必要だと考えています。</p>				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 日時 平成29年8月14日(月) 17時30分～21時 場所 和庄小学校校庭及び体育館 内容 小学生以下を対象としたジャンケン大会 お楽しみ抽選会 和庄中学校吹奏楽部の演奏 盆踊り 神楽の鑑賞 地域の人たちによる模擬店(焼き鳥、焼きそば、かき氷、フランクフルト他) 来場者 約1,000名 <p>※参加促進のため、65歳以上の高齢者には1世帯300円の【元気券】を、また、小学生には1人300円の【子ども券】を配付しました。</p>				
この事業を企画・実施した人	<p>第2地区まちづくり計画の大きな柱の一つである「わいわい地域交流」活動の一環として、女性会や民生委員児童委員等と話し合いながら企画立案しました。地域ボランティアの多数の参加もあり、地域全体が盛り上がるイベントになりました。</p>				
苦労した点	<p>当日は、夕方から雨が降り出す予報になったため、急遽校庭に設置した櫓を解体し、模擬店以外のイベントを体育館内で行いました。 地域の担い手の高齢化に伴い準備が大変だったが、和庄中学校の生徒約70名と親父の会の方々ボランティアとして手伝ってくれたおかげで助かりました。</p>				
活動状況	 <p>子ども水みこしによるオープニング</p>		 <p>屋台の様子</p>		
	 <p>和庄中吹奏楽部の演奏</p>		 <p>神楽の観賞</p>		

番号	4	団体名	第2地区まちづくり委員会	代表者	城 健康
事業名	Good-bye2017昔遊び・餅つき交流フェスタ			事業費	約150,000円
事業の目的	<p>近年、子どもを取り巻く地域・社会環境は、事件・事故等多くの課題を抱えています。子どもにとって安全・安心なまちづくりを実現するためには、地域の絆を深めるとともに、地域ぐるみで児童の健全育成活動を推進する必要があります。その活動の一環として、和庄小学校を通学区域とする子ども達が地域の人と一緒に正月の伝統的な「昔遊び・餅つき」を体験し、地域の異世代の人々と交流を持つことにより、地域の人と顔なじみになり、日頃の挨拶も活発に行われるなど、子どもを取り巻く環境や安全に対する住民の意識も高まるものと考えられます。祖父母→お父さん・お母さん→お孫さんと次世代への伝統文化の継承及び地域・世代間の交流を通して、高齢者が生き甲斐を持ち地域社会に貢献するとともに、子ども達も地域文化に目覚め、地域の人々と豊かな関係性を持って成長することを目指します。</p>				
事業概要	<p>・日時 平成29年12月28日(木) 9時～12時30分 ・場所 和庄小学校校庭 ・内容 昔遊び体験コーナー ・こま回し、けん玉、竹とんぼ及びお手玉の4つのコーナーを設け、子ども達が地域の方に教えてもらいながら昔遊びを一緒に体験します。 ふれあい餅つき大会 ・杵での餅つきや足踏み式餅つきを体験します。 ・つきたての餅をぜんざいにしたり、きな粉やしょうゆをつけて食べます。 ・参加された方にはお土産として餅を配布します。 ・参加者 約400名(子どもが約200名参加。毎年増加しています。)</p>				
この事業を企画・実施した人	<p>平成25年度から3年間、和庄小学校区の第2地区及び第3地区まちづくり委員会が連携事業として、市民ゆめ創造事業交付金(地域間連携推進事業)を財源に充て実施しましたが、昨年度より、第2地区まちづくり委員会単独で実施しています。年末の餅つき大会を楽しみにしている方も多く、地域間、世代間交流を育む良い機会となっています。</p>				
苦労した点	<p>各地で餅つき大会を中止する所が出て開催を危ぶむ声もありますが、地域のふれあいや一体感を醸成するには餅つき大会を開催するべきだとの意見が多かったため、衛生面に十分気をつけ実施しました。</p>				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>こま回し体験</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>会場の様子</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>醤油餅・きなこ餅の配膳</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>子どもの餅つき体験</p> </div> </div>				

番号	5	団体名	第3地区まちづくり委員会	代表者	齊藤 晴彦
事業名	第3地区ふれあいラジオ体操			事業費	63,000円 (健康づくり部会助成金)
事業の目的	夏休み期間中、地域の子どもから高齢者までが、健康を維持に効果のあるラジオ体操を毎日行い、地域をあげて健康な体をつくる。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・日時 平成29年7月22日(土) 6時30分から ・場所 和庄中学校校庭 ・内容 地域の子どもから高齢者までが、早朝、和庄中学校に集合し、健康を維持するために非常に効果のある「究極の健康法」とも言われているラジオ体操第1を一斉に行い、夏季期間、地域をあげて健康な体をつくる運動をスタートさせる。以後、夏休み期間中は、早寝早起きする規則正しい生活を行い、自宅で毎日、6時30分から10分間ラジオ体操を行い健康維持を図る。当日は、体操後に脱水症予防のための飲料とタオルを配布した。参加者数 235人(和庄中生徒40人、教諭5人、住民190人) 				
この事業を企画・実施した人	第3地区まちづくり委員会健康づくり部会が中心となり企画実施し、当日、まちづくり委員会の役員も協力した。				
苦労した点	和庄中学校は、学校を上げて協力・参加してくれるが、和庄小学校及び本通小学校は、学区内に第2地区及び第4地区の各まちづくり委員会があるため、学校からの参加呼びかけがしにくい状況があった。自治会回覧等で参加の呼びかけをするが、やはり児童の参加者数は少なかった。				
活動状況	 <p>会長の挨拶・号令</p>		 <p>ラジオ体操風景1</p>		
	 <p>ラジオ体操風景2</p>		 <p>水症予防にスポーツドリンクを配</p>		

番号	6	団体名	第3地区まちづくり委員会	代表者	齊藤 晴彦
事業名	第3地区冬まつり・子どもまちづくり事業			事業費	約465,000円
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の交流を促進し、絆を強める。(世代間交流も含む) ・「とんど」という地域伝統文化の継承 ・子どもの健全育成 ・合同防災訓練や交通安全教室を兼ねた複合イベント「冬まつり」を実施することで、参加者の増加、安全安心なまちづくりの推進と、公的機関との協働により地域力の向上を図る。 ・本通小学校6年生のやりたいことを事業に盛り込み、地域の大人と一緒に実施した。 				
事業概要	<p>【日時】平成30年2月4日(日)9時～12時</p> <p>【場所】本通小学校グラウンド</p> <p>【内容】平成22年度に、30年ぶりの復活を果たした「とんど焼き」を中心に、地域の子どもと大人が交流する事業で、今年が8回目にあたります。今年、従前の「とんど焼き」の他、6年生が地域の大人と作った「ミニとんど焼き」も加わり、さらに、合同防災訓練(煙中避難、負傷者搬送、AED操作、消火器操作)、交通・防犯教室、餅つき大会、大人と子どものゲーム遊び、子どもものづくり教室、本通小学校PTAのバザー(古本、古着、雑貨等販売)、6年生発案したスタンプラリーの景品でチョコバナナの配布、とん汁、ぜんざい、たこ焼き、お餅の無料配布など、盛りだくさんの内容で、大勢の人が参加し、大盛況でした。昔の遊びを体験できるものづくり教室やパン食い競争、的当て、竹馬などのゲーム、もち焼き、スタンプラリーなどで子ども達が楽しむ姿が印象的でした。</p> <p>【参加者】約700名</p>				
この事業を企画・実施した人	<p>【企画】第3地区まちづくり委員会 地域文化の伝承部会</p> <p>【実施】第3地区自治会連合会・本通小学校・PTA・ソフトボール同好会・地区子ども会・和庄中学校有志・呉警察署・呉市消防局西消防署・呉市消防団 呉東地区隊本通分団・第3地区内の商業振興部会・地域内外の有志・呉市職員</p>				
苦労した点	<ul style="list-style-type: none"> ・天候(天気予報などの寒波事前情報により、準備日も含め早めに実施判断をした。) ・とんど(ミニとんどを含む)の材料集め及び設計・製作 ・小学校、警察、消防、消防団及び各種地域団体、保健所との調整 ・地域の伝統行事を手伝ってくれるまちづくり協議会の後継者不足 				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">  <p>小6によるミニとんどの組み立て</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>燃え上がる大小のとんどを見守る人々</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>交通安全教室(飲酒体験ゴーグル)</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>合同防災訓練(負傷者搬送)</p> </div> </div>				

番号	7	団体名	第4地区まちづくり委員会	代表者	中塩 幸一
事業名	長迫公園（旧海軍墓地）清掃活動			事業費	71,893円
事業の目的	<p>長迫公園（旧海軍墓地）をお盆前に地区内の住民が清掃し、清掃後は、参加者全員で慰霊祭壇に黙とうを捧げています。</p> <p>戦後、荒れ果てていた旧海軍墓地を近隣住民が自主的にきれいにしていた清掃活動は、これまで67年もの間、継続しています。</p> <p>第4地区は範囲が広いですが、長迫公園から遠方の住民も参加しています。また、子ども会もラジオ体操の後に、この清掃活動に参加しており、地域の大切な行事として次世代にも引き継がれています。</p>				
事業概要	<p>○日 時 平成29年8月12日（土） 午前6時50分～7時30分 清掃活動 その後、供養式（慰霊祭壇に黙とうと合掌）</p> <p>○場 所 長迫公園（旧海軍墓地）園内道路・石畳や水路を含む周辺一帯</p> <p>○参加者 約150名</p> <p>○内 容 ◇清掃活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園内の植栽、園路・石畳、溝、水路、石垣法面など全体を清掃した。 ・各自治会から熊手や竹箒を提供し、参加者全員に熱中症対策の飲料水（お茶）を配布した。 <p>◇供養式（黙とうおよび合掌）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・清掃後、慰霊祭壇に参加者全員で黙とうを捧げ、一人一人が登壇して手を合わせた。 				
この事業を企画・実施した人	第4地区自治会連合会と第4地区まちづくり委員会				
苦労した点	高齢者や子どもが多く参加したため、安全対策に苦労しました。（熱中症、けが、「まむし」など）				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>2017/08/12 07:38</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>2017/08/12 06:53</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">横断幕「第4地区長迫公園清掃活動」を目印に集合</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>2017/08/12 07:17</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>2017/08/12 07:32</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">清掃活動</p> <p style="text-align: center;">黙とうの後、祭壇に手を合わせました</p>				

番号	8	団体名	第4地区まちづくり委員会	代表者	中塩 幸一
事業名	盆踊り大会（参加促進支援事業）			事業費	128,833円
事業の目的	<p>地域の絆を深めるため、毎年、長迫小学校校庭で、地元の奉賛会と6つの自治会および第4地区まちづくり委員会が合同で盆踊り大会を開催しています。</p> <p>この盆踊りに出店する焼きそば、かき氷、フランクフルトなどのコーナーで使用できる買い物券をまちづくり委員会が発行・配布することにより、多くの参加者が集まり、地域全体のイベントとして盛大に開催されています。また、そのことで、顔と顔の見える地域社会の実現に繋がっています。</p>				
事業概要	<p>○日時 平成29年8月12日（土） 18時30分～21時</p> <p>○場所 長迫小学校グラウンド ○参加者 約300名</p> <p>○内容 ◇夜店・ゲームコーナー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・焼きそば, フランクフルト, ジュース, かき氷, スーパーボールすくいなど <p>◇盆踊り大会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長迫小学校グラウンドにやぐらを組み, 文連の三曲会による炭坑節や呉音頭の生演奏・生唄にあわせて盆踊りを行った。 また, 鳴子を子どもに配り, よさこいバージョンの盆踊りで盛り上がった。 <p>◇抽選会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・盆踊りの後, カープグッズや花火を賞品とした抽選会を行った。 				
この事業を企画・実施した人	<p>○盆踊り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鹿田迫奉賛会, 六ヶ町自治会 ※協力：三曲会（文連） <p>○参加促進支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第4地区まちづくり委員会 				
苦労した点	<p>範囲の広い第4地区をまとめ、地域文化の伝承と季節の風物詩である盆踊りを盛り上げるため、第4地区まちづくり委員会としてどのような方法が最も効果的かを検討した結果、買い物券の配布を続けているが、多くの人が参加するようになり一定の効果を果たしている。</p>				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">  <p>買い物券配布に多くの人が集まりました</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>「三曲会」による生演奏と生唄</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>みんなで仲良く盆踊り</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>夜店・ゲームコーナーに集まる子どもたち</p> </div> </div>				

番号	9	団体名	第4地区社会福祉協議会	代表者	中塩 幸一
事業名	第4地区敬老会			事業費	433,857円
事業の目的	<p>第4地区では目標の一つである「地域でふれあい楽しいまちづくり」のため、地区社協所属の各団体をはじめ、地元の団体やグループ、幼稚園、警察署などが協力し、敬老者に少しでも喜んでいただける敬老会が開催できるよう努めています。</p> <p>今年度も、地元グループや幼稚園などがアトラクション発表などで協力したことにより、アットホームな敬老会になり、世代間交流と本当の意味での楽しいまちづくりに役立ちました。</p>				
事業概要	<p>○日時 平成29年9月10日(日)9時～11時30分 ※8時～準備, 8時30分～受付</p> <p>○場所 本通小学校体育館 ○参加者 約300名</p> <p>○内容 ◇式典 ①開会のことば ②国歌斉唱 ③物故者黙祷 ④主催者代表あいさつ ⑤記念品贈呈 ⑥来賓祝辞および来賓紹介 ⑦祝電披露 ⑧被招待者謝辞 ⑨長寿万歳 ⑩閉会のことば</p> <p>◇アトラクションほか ①呉警察署「特殊詐欺防止について」②平原保育園「たる太鼓と歌」 ③西畑町自治会「歌とピアノ」④東雲自治会「獅子舞“江戸寿獅子”」 ⑤東鹿田町自治会「舞踊」⑥長迫町自治会「琴演奏」 ⑦溝路町自治会「フォークダンス」⑧本通ハンドベル同好会</p>				
この事業を企画・実施した人	<p>・地区社会福祉協議会を中心とした地元各団体が協力して実施 ※自治連、女性会、民協、保護司会などが主体となって、地元の幼稚園や小中学校、警察署なども全面協力</p>				
苦労した点	<p>単独地区社協の開催のため派手な行事はできませんが、各団体やグループ、地元幼稚園などが協力し、手作りで地元開催ならではの敬老会を行うことができました。</p> <p>祝う者(主催者や発表者)と祝われる者(招待されたお年寄り)、祝われる者同士、どちらも笑顔で楽しそうにあいさつを交わし、地域の目標の一つである「世代間交流」が十分できました。</p>				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;"> <p>平原保育園「たる太鼓と歌」</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;"> <p>東鹿田町自治会「舞踊」</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;"> <p>溝路町自治会「フォークダンス」</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;"> <p>本通ハンドベル同好会</p> </div> </div>				

番号	10	団体名	第4地区まちづくり委員会	代表者	中塩 幸一
事業名	防犯パトロール大会			事業費	179,732円
事業の目的	地域住民の犯罪予防に対する意識を喚起し、住民と関係機関が連携して犯罪のない地域社会を構築することを目的とし、年の瀬を迎える10月末～11月に、第4地区では防犯パトロール大会をまちづくり委員会の主催で実施しています。				
事業概要	<p>○日時 平成29年10月29日(日) 10時～11時30分</p> <p>○場所 長迫小学校体育館(3階:式典・アトラクション, 1階:女性会による豚汁)</p> <p>○内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇会長あいさつ ◇東畑中学校吹奏楽部の演奏 ◇来賓祝辞・紹介 ◇平原保育園児による太鼓演奏と遊戯 ◇大会宣言(平原保育園児による「ガンバロウ」の三唱) ◇女性会による豚汁の振る舞い <p>○参加人数 約250名</p> <p>※当日はあいにく台風の接近による悪天候のため、防犯パレードは中止し、式典・アトラクションのみ体育館で行いました。パトロールができなかったのは残念ですが、地元保育園児の音頭で大会宣言を行い、参加者全員で「安全・安心なまちづくり」に「ガンバロウ」と誓いました。</p>				
この事業を企画・実施した人	第4地区まちづくり委員会の地域防犯・防災を担当する「安全部」が中心となって開催し、地元女性会などとも連携を図っています。				
苦労した点	一昨年まで3年連続雨でパレードが中止だったため、天候について心配しましたが、案の定今年度も台風の接近による悪天候で体育館での実施となりました。				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>会長のあいさつで開会</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>東畑中学校吹奏楽部の演奏</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>平原保育園児によるアトラクションと大会宣言</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>平原保育園児によるアトラクションと大会宣言</p> </div> </div>				

番号	11	団体名	第5地区まちづくり委員会	代表者	土本 敏明																														
事業名	区域内防災訓練と防災備品整備			事業費	約1,200,000円 (訓練, 備品合計)																														
事業の目的	<p>第5地区は、市内中心部から灰ヶ峰中腹にわたり南北に細長く広がる地域で、複数の河川や谷などが急峻な地形を形成しており、また急勾配で狭い道路も多く、災害時の避難や物資の搬送などに不安を抱えています。</p> <p>このような中、住民アンケートで最も関心の高かった「防災」に対する意識を高めるとともに、実際の災害時における行動を想定した「体感」シミュレーションを行うため、地域内を4ブロックに分けて総合防災訓練を行いました。</p>																																		
事業概要	<table border="1"> <tr> <td>地区</td> <td>惣付地区</td> <td>明立小学校区</td> <td>辰川・畝原地区</td> <td>荘山田小学校区</td> </tr> <tr> <td>日時</td> <td>H29.6.18(日)</td> <td>H29.7.20(木)</td> <td>H29.11.23(木)</td> <td>H29.12.22(金)</td> </tr> <tr> <td>場所</td> <td>惣付公園・ふれあい集会所</td> <td>明立小学校</td> <td>辰川会館</td> <td>荘山田小学校</td> </tr> <tr> <td>参加者</td> <td>約90名 幼小中学生, 地域住民</td> <td>383名 幼小中学生, 地域住民</td> <td>165名 小中学生, 地域住民</td> <td>中央地区まちづくり委員会との合同事業 詳細は別シートで説明</td> </tr> <tr> <td>内容</td> <td colspan="4">①②③④⑦</td> </tr> <tr> <td colspan="5">①消火訓練, ②搬送訓練, ③救命(AED)訓練, ④119番通報訓練, ⑤ロープ結索方法⑥煙中体験⑦講話</td> </tr> </table> <p>・防災用品収納倉庫: H23: 4か所新設, 1か所改修(旧辰川小体育館下倉庫) H24: 5か所新設 H25: 2か所新設・1か所共用(4自治会は自治会で倉庫を設置済み), 炊き出し用釜2セット購入 H26: 炊き出し用釜2セット, 大型扇風機10台, 発電機2台, 会議机29台購入 H27: 大型ストーブ4台購入 H28: テント29台購入 H29: リヤカー7台, 担架10台, 車いす4台, 大型扇風機4台購入 →拠点避難所(明立小学校, 荘山田小学校, 辰川会館, 惣付ふれあい集会所), 準拠点避難所(第5地区集会所)に配備</p>					地区	惣付地区	明立小学校区	辰川・畝原地区	荘山田小学校区	日時	H29.6.18(日)	H29.7.20(木)	H29.11.23(木)	H29.12.22(金)	場所	惣付公園・ふれあい集会所	明立小学校	辰川会館	荘山田小学校	参加者	約90名 幼小中学生, 地域住民	383名 幼小中学生, 地域住民	165名 小中学生, 地域住民	中央地区まちづくり委員会との合同事業 詳細は別シートで説明	内容	①②③④⑦				①消火訓練, ②搬送訓練, ③救命(AED)訓練, ④119番通報訓練, ⑤ロープ結索方法⑥煙中体験⑦講話				
地区	惣付地区	明立小学校区	辰川・畝原地区	荘山田小学校区																															
日時	H29.6.18(日)	H29.7.20(木)	H29.11.23(木)	H29.12.22(金)																															
場所	惣付公園・ふれあい集会所	明立小学校	辰川会館	荘山田小学校																															
参加者	約90名 幼小中学生, 地域住民	383名 幼小中学生, 地域住民	165名 小中学生, 地域住民	中央地区まちづくり委員会との合同事業 詳細は別シートで説明																															
内容	①②③④⑦																																		
①消火訓練, ②搬送訓練, ③救命(AED)訓練, ④119番通報訓練, ⑤ロープ結索方法⑥煙中体験⑦講話																																			
この事業を企画・実施した人	<p>まちづくり委員会内の「安心して住めるまちづくり部会」(メンバー13名)が企画し、各ブロックごとに、所属する自治会長が中心となって、会場準備や消防との調整、物品の準備、当日の運営などを行いました。</p>																																		
苦勞した点	<p>※子どもからお年寄りまで、地域に住む皆さんが参加できるように、学校や幼稚園などと協力して実施できるよう調整しました。また、体験的プログラムを取り入れ、参加者に少しでも興味を持ってもらえるよう工夫しました。災害は、いつどこで起こるかわからないので、開催日時と場所を考えました。休日の午前だけでなく、終業式後に実施した箇所もあります。</p> <p>会場は、地域の防災拠点ごとに設定しました。特に小学校は重要で、校区が第5・第4地区にまたがっている「明立小」と、第5・中央地区にまたがっている「荘山田小」は、「学校区」という単位でまとまって訓練できるよう協働事業で実施しました。</p> <p>※これらの活動により、平成25年度中に全自治会に自主防災会が結成されました。防災用品は、自主防災会設立と同時に設置・購入計画をたて、数年間をかけて整備しております。</p>																																		
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">  <p>ロープ結束訓練</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>煙中体験</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>幼児による水消火器訓練</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>炊き出し訓練</p> </div> </div>																																		

番号	12	団体名	第5地区まちづくり委員会	代表者	土本 敏明
事業名	呉市の歴史と文化を訪ねて～豊町御手洗地区～研修バスツアー			事業費	約300,000円
事業の目的	<p>第5地区内には2つ小学校があり、4つの学区にまたがっています。まちづくり委員会では、未来を担う子どもたちが、同じ地域で学区の枠を超えて交流し、健やかに育つよう、交流の場や学びの場を作ることが大切であると考えました。そのため、地区内に住む幼児、小学生とその保護者、地域の皆さんを対象に、呉の歴史や地域ごとの特色を学び体験するバスツアーを計画、実施しています。</p> <p>29年度の目的地は豊町御手洗地区。観光ボランティアの皆さんにガイドしていただき、歴史的景観や自然が豊かな御手洗地区を堪能しました。また、橋伝いに愛媛県今治市岡村島に渡り、対岸から御手洗を眺める経験もしました。</p>				
事業概要	<p>日時 平成29年8月18日(金) 9時30分出発, 16時解散 参加者 128名 (幼児・小学生69名, 保護者・関係者59名) 訪問先 豊町御手洗地区散策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3つの橋でつながっている、愛媛県今治市関前町の岡村島を経由しました。橋の上の県境を車窓から見て愛媛県と陸続きになっていることを実感したり、このあと散策する御手洗を対岸から眺めたりしました。 ・4つのグループに別れ、地元ガイドの皆さんの解説を聞きながら、古い町並みが残るエリアを歩きました。 ・古い劇場を改装した乙女座で、豊町の歴史を地域の方からの説明を受けながら、みんなで昼食を食べました。 				
この事業を企画・実施した人	まちづくり委員会内の「未来へつなぐまちづくり部会」(メンバー13名)が企画し、見学先の選定や事前打ち合わせ、観光ボランティアとの調整、当日の運営などを行いました。				
苦労した点	<ul style="list-style-type: none"> ・世代間の交流が図られるような企画内容にするため、地区社会福祉協議会と協力して事業を実施しました。 ・充実したプログラムにしたいと考え、事前に現地に行き、受け入れ先の観光ボランティアと調整を行いました。 				
活動状況	 <p>みかんメッセージ館を見学</p>		 <p>歴史ある町並みを散策</p>		
	 <p>ガイドさんの説明を聞きながら史跡見学</p>		 <p>昼食は昔の劇場・乙女座で</p>		

番号	13	団体名	第6地区まちづくり委員会	代表者	藤本 勝彦
事業名	第6地区夏まつり			事業費	461,460円
事業の目的	<p>今年で第10回目を迎える「第6地区夏まつり」には、地区内の自治会や社会福祉法人などが、肉じゃがや唐揚げなどの屋台（テント）を出店しています。また、片山中吹奏楽部や地元のおやじバンドの演奏、盆踊り、地元のスーパーマーケットの抽選会、花火大会、そして、フィナーレに「打ち上げ花火」と「ナイアガラの滝」に見立てた花火が打ち上げられるなど、地域が一体となって開催する第6地区の夏の一大イベントとなっています。</p> <p>地元地縁団体だけでなく、様々な団体や各世代が一つとなり、このような行事を行うことによって、地元の一体感や世代間交流が促進されています。</p>				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 日時 平成29年8月19日（土） 17時～20時10分 場所 片山中学校グラウンド 内容 屋台（テント） いなり寿司、パン、唐揚げ、ポップコーン、綿菓子、かき氷、コロッケ、フランクフルト、アメリカンドッグ、肉じゃが、おむすび、うどん、たこ焼き、ジュース、生ビール、お遊びコーナー（輪投げ、風船ヨーヨー、スーパーボール、輪投げ、まとあて） ステージ 片山中吹奏楽部・運推協による健康くれ体操、 地元のおやじバンド「かぶと虫バンド」・盆踊り・ナンバー抽選くじ メモリアルコーナー、射的、ゲーム 花火（子ども用花火、打ち上げ花火、ナイアガラ） 参加人数（一般参加） 1,287人（対前年比9.6%増） 				
この事業を企画・実施した人	主催の第6地区まちづくり委員会を中心とした地元各種団体やボランティアで実行委員会をつくり実施。ほかに片山中学校、社会福祉法人かしの木、地元のスーパーマーケット藤三片山店なども全面協力				
苦労した点	会場となる片山中学校や多数のボランティア（会場づくりや片付け、司会、吹奏楽部の発表、子ども用花火の配布など）などを含む実行委員会メンバーの協力がなければ実施できない行事ですが、そういった学校等と地域との連携が結果的には世代間交流や地域の団結力につながっています。				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">  <p>オープニングは片山中吹奏楽部</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>地元のおやじバンド「かぶと虫バンド」</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>参加者みんなで盆踊り</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>エンディングの花火はナイアガラ</p> </div> </div>				

番号	14	団体名	呉市第6地区社会福祉協議会	代表者	藤本 勝彦
事業名	第6地区敬老会			事業費	534,912円
事業の目的	<p>第6地区では、第6地区未来基本計画の9ページ「実施計画」にある「各種イベントの開催」で「高齢者を支えます」を目標に、各種団体の協働の幅を少しずつ増やしなが ら、敬老者に喜んでいただける敬老会を開催できるよう活動しています。 今年度も、地域の団体や幼稚園、小中学校、社会福祉法人などが協力して手作りの敬 老会を開催したことにより、アットホームで本当にお年寄りが喜んでくださった行事に なりました。</p>				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・日時 平成29年9月18日(祝) 10時～12時15分 ・場所 くれ絆ホール(呉市役所1階) ・敬老対象者数 583人 ・来場者数 364人 ・内容 式典 ①開会のあいさつ ②国歌・呉市歌斉唱 ③物故者への黙とう ④会長あいさつ ⑤来賓祝辞・紹介 ⑥祝電披露 <p>演芸(アトラクション)</p> <ul style="list-style-type: none"> ①至心幼稚園 「遊戯と歌」 ②荘山田小学校 「歌と語り」 ③かしの木 「日本舞踊」 ④郷町よもぎの会 「手話」 ⑤きたさこ「華」一ず 「混声コーラス」 ⑥片山中学校 「合唱と吹奏楽」 <p>閉会のあいさつ</p>				
この事業を企画・実施した人	<ul style="list-style-type: none"> ・呉市第6地区社会福祉協議会と第6地区まちづくり委員会を中心とした地域の各団体が協力して実施 ※地区内の幼稚園や小・中学校、社会福祉法人かしの木なども全面協力。 				
苦勞した点	<p>地区内の敬老者を地区のみんなでお祝いしようと、各団体やグループ、幼稚園、小・中学校、社会福祉法人などが協力して行ったことで、世代間交流にもなりました。 また、片山中学校のボランティアが受付などを協力してくれました。 ご近所で見かける子どもや若者が自分たちのためにお祝いをしてくれるのをうれしそうに見ているお年寄りの姿を見て、これからも地域の団結力で、敬老行事を継続実施させていくと決意を新たにしました。</p>				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>至心幼稚園 「遊戯と歌」</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>かしの木 「日本舞踊」</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>混声コーラス きたさこ「華」一ず</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>片山中学校 「合唱と吹奏楽」</p> </div> </div>				

番号	15	団体名	第6地区まちづくり委員会	代表者	藤本 勝彦
事業名	災害時協定の締結・総合防災訓練			事業費	233,400円
事業の目的	<p>・災害時における自助・共助の地域力を強化するとともに、中学生に主体性をもって防災訓練に取り組んでもらうことで、地域の将来を担う人材を育成している。</p> <p>・地区住民に避難場所の確認と意識付けを行うとともに、避難時の問題点を洗い出すことにより、有事の際に多くの命が助かるようにするため、住民の危機管理意識を育てること。</p> <p>・まちづくりの柱の一つに位置づけ、住民だけでなく地域内の福祉施設や店舗などを含む地域組織として、危機意識を持って取り組むことで、地域の一体感（絆）が生まれる事業にする。</p>				
事業概要	<p>【災害時協定】 当まちづくり委員会は、平成24年に地元の藤三片山店と災害時の避難所としての敷地の一部使用や、食糧等の優先的な購入等についての防災協定を締結しており、さらに、平成29年には、社会福祉法人かしの木とも災害時における施設の一部使用協定を締結している。</p> <p>【総合防災訓練】 日時・場所 平成29年11月24日（金）9時30分～14時 片山中学校 内容 10時45分に震度6の地震があったことを想定して、地域内の幼・小・中・福祉施設・住民全ての人を対象に避難訓練を行い、地域の避難場所としての片山中学校に避難し、グラウンドで全員の安否確認を行った。 その後、グラウンドで、初期消火・衛星電話での通話・給水の3訓練を、また、校舎内で煙中・避難所設営の2訓練を行った。小学校高学年と中学生が低学年及び幼稚園児とペア（チーム）を組んで訓練に参加したことで、地域内の子ども同士の間で連帯感が生まれた。 参加者 828人</p>				
この事業を企画・実施した人	<p>【主催】 第6地区まちづくり委員会 ・第6地区社会福祉協議会 ・第6地区自治会連合会及び女性会 ・片山中学校 ・荘山田小学校 ・至心幼稚園 ・社会福祉法人かしの木 ・呉市社会福祉協議会 ・(株)藤三 ・西消防署 ・消防団呉中央分団 ・水道局 ・呉警察 ・NTT西日本 ・ウォンツ片山店</p>				
苦労した点	<p>中学校と連携しながら中学生に主体性をもってもらうよう工夫しました。また、地域のリーダーには、当日の役割や動きの確認をするため、複数回の説明・打ち合わせ会を行った。</p>				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>片山中避難訓練風景</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>初期消火訓練</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>衛星電話での通話訓練</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>避難所設営シュミレーション訓練</p> </div> </div>				

番号	16	団体名	くれ中央地区まちづくり委員会	代表者	中谷 一彦
事業名	第8回 まるごと・中央地区ウォーキング大会			事業費	約80,000円
事業の目的	<p>中央地区は、駅に近いことから、市外へ通勤通学する方が多く、またオフィスビルも多いため、昼間人口と夜間人口の動きが激しくなっています。また、マンションが多く、共働き世帯も多いことから、人のつながりが希薄になっています。</p> <p>このような中、自治会加入者と未加入者、また地域内に住む方と地域内で働く方など、多くの方が交流し、楽しく健康づくりができるよう、「まるごと・中央地区ウォーキング大会」を実施しています。</p> <p>また、中央公園児童公園で、防災訓練炊き出しを行い、ウォーキングを終えて帰った参加者に、今年はカレーライスを提供し、疲れを癒やしました。</p>				
事業概要	<p>日時 平成29年5月27日(土) 午前9時～午後1時</p> <p>参加者 約100名</p> <p>内容 ゆったり散策コース 1km 中央公園→二河公園グラウンド→往復→中央公園</p> <p>モデルコース(中央地区半周) 3.5km 中央公園→市役所→蔵本通→大和ミュージアム→二河川公園→二河川沿い→呉中央学園→中央公園</p> <p>健脚コース(中央地区一周) 6km 中央公園→二河公園→東片山町→辰川川沿い→市役所→蔵本通→大和ミュージアム→二河川公園→二河川沿い→山手橋→中央公園</p> <p>※ ゴール後、中央公園で防災訓練炊き出し(カレーライス)を実施</p>				
この事業を企画・実施した人	<p>まちづくり委員会内の健康づくり部会(メンバー10人)が中心となって企画立案するとともに、他の4つの部会と民生委員、防犯パトロール隊、健康増進課職員(健康くれ体操)などが協働して運営に当たりました。</p>				
苦労した点	<p>一昨年より、まるごと中央地区と題して、中央地区を一週するコースを基本に設定しました。</p> <p>お年寄りや子どもの参加者が多く、交通量の多いまちなかのコースでの安全確保をしっかりと行うため、防犯パトロール隊を始め、まちづくり委員会メンバーが先導やコース管理などを行い、安心してウォーキングを行うことができるよう注意しました。</p>				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;"> <p>準備運動 (健康くれ体操)</p> </div> <div style="width: 50%;"> <p>各コースへ向けいざ出発!</p> </div> <div style="width: 50%;"> <p>健脚コース (二河川河口付近を進行中)</p> </div> <div style="width: 50%;"> <p>防災訓練 (カレーライス炊き出し)</p> </div> </div>				

番号	17	団体名	くれ中央地区まちづくり委員会	代表者	中谷一彦, 木村公一
事業名	第8回 くれ中央夏まつり (くれ絆盆踊り大会)			事業費	約1,100,000円
事業の目的	<p>中央地区には史跡や神社仏閣, 伝統行事がないため, 地区の祭りがなく, 高齢者と若者・子どもの交流が少なくなっています。また, 近年マンション等の住民は増えていますが, 自治会に加入していない方も多いため, 若い世代が地域行事に参加する機会が少なくなっています。</p> <p>このような中, 交流と賑わいの場を創り出すとともに, 地域の方の参加意識の向上を目指して, 気軽に楽しく参加できるイベント「くれ中央地区夏まつり」を実施しています。</p> <p>なお, 平成25年の第4回から, 場所を体育館前の児童公園から, 中央公園噴水西側に移し, ステージを組んで, 呉市文化団体連合会民舞民謡部の方々等による「呉音頭」講習と「盆踊り大会」を盛大に開催しています。</p>				
事業概要	<p>日時 平成29年8月26日(土) 16時~21時 ※準備は13時~, 後片付け終了は22時</p> <p>場所 中央公園噴水西側</p> <p>内容 模擬店運営 かき氷, フライドポテト, たこ焼き, 焼きそば, フランクフルト, 焼き鳥, コロッケ, 唐揚げ, すぎやカレー, 飲み物(生ビール, 缶ビール, ジュース), 枝豆</p> <p>こども広場運営 ヨーヨー釣り, スーパーボールすくい, ビンゴゲーム, お宝釣り, 輪投げ, コイン落とし, 水鉄砲, お楽しみ抽選会(うちわくじ)</p> <p>くれ絆盆踊り, 子ども花火, ステージパフォーマンス(吹奏楽, 和太鼓, ダンス, ジャズバンド, 神楽)</p>				
この事業を企画・実施した人	<p>まちづくり委員会内のコミュニティ推進部会と青少年育成部会が中心となって企画立案するとともに, 他の部会と民生委員, 行政(市, 警察, 消防団), くれ絆盆踊り実行委員会などが協働して各ブースの設営, 運営に当たりました。</p>				
苦勞した点	<p>平成25年から, 会場を広げて模擬店・子供広場を工夫し, ステージを設営するなど地域の方々等総出で運営しています。ステージでは, 地元ボーイスカウト・ガールスカウトによる吹奏楽の演奏と「呉氏」・「呉氏 Jr」によるダンス披露のオープニングセレモニーで始まり, 今年誕生した呉アイドルユニット「センカン大和」のダンス, ジャズバンド, 和太鼓, 盆踊り大会などのほか神楽の上演を行い, 大いに盛り上がりました。年度当初から準備委員会を立ち上げ, タイム設定・進行に最後まで気を配りました。</p>				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>オープニングセレモニー</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>キッズコーナー風景</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>呉音頭で盆踊り</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>神楽上演 (伊吹山)</p> </div> </div>				

番号	18	団体名	第5地区，中央地区まちづくり委員会	代表者	中谷一彦，土本敏明
事業名	荘山田小学校地域合同防災訓練			事業費	313,229円
事業の目的	<p>第5地区は，市内中心部から灰ヶ峰中腹に向け住宅が密集する地域にあります。複数の河川や谷などが急峻な地形を形成し，急勾配で狭い道路も多く，災害時の避難について不安を抱えています。一方，中央地区は平坦な地形で土砂災害等の危険性は低い地域ですが，浸水被害の危険性がある地域です。</p> <p>そんな中，隣接地域に災害が発生した場合に対して，「住民が連携・協働して防災に関する知識や技術の習得しよう」「地域にあった防災対策を考えよう」という地域防災意識が高まってきました。その結果，荘山田小学校区を通学区とする住民が中心となり，「呉市民りゆめ創造事業・地域間連携推進事業」により，2つのまちづくり委員会が合同して研究するための防災・防火訓練を実施することになりました。</p>				
事業概要	<p>日時：平成29年12月22日（金）14時～16時30分 場所：呉市立荘山田小学校 参加者：308名 実施主体：荘山田小学校区合同防災・防火訓練実行委員会 内容：・5グループに分かれ実地訓練 （ロープ結索法，救急搬送法，煙中体験，応急手当法（AED）） ・炊き出し訓練 ・水消火器体験（幼児） ・避難誘導 ・防災研修（災害から身を守るために・・・） 広島県防災アドバイザー土本会長による講演</p>				
この事業を企画・実施した人	<p>この訓練を実施するため，「荘山田小学校区合同防災・防火訓練実行委員会」を立ち上げました。 会長（第5地区まちづくり委員会 土本会長）と副会長（中央地区まちづくり委員会 中谷会長）を中心に，双方のまちづくり委員会による15名の実行委員で企画・実施しました。</p>				
苦労した点	<p>・災害は，いつどこで起こるかかわからないので，開催日時と場所を考え，2学期の終業式後，子どもが一旦帰宅した日時で実施しています。 ・3回目となる今回の訓練では，小・中学生の参加者も積極的に訓練に取り組み，より実践的な災害時のシュミレーションができたほか，さらに住民間のコミュニケーションを図ることができ，災害に備える体制を確保することができました。</p>				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>救急搬送法訓練</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>救急法（心肺蘇生法・AED）体験</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>炊き出し訓練の様子</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>広島県防災アドバイザー土本会長による講演</p> </div> </div>				

番号	19	団体名	第8地区まちづくり委員会	代表者	中田 清和 (事業実施時)
事業名	ふれあいまつり (夏まつり・盆踊り)			事業費	190,523円 ※H28年度実績
事業の目的	<p>今年度で第15回目を迎える「ふれあいまつり」には、地区内の各自治会が、おでんやカレーなどの夜店を出店しています。また、子ども会による風船ヨーヨー釣りなどのゲームコーナー、そして、盆踊り(呉音頭など)も行われ、地域が一体となって開催する第8地区の夏の風物詩となっています。</p> <p>ふれあいまつりによって、自治会等のコミュニティ組織の一層の活性化が図られるとともに、盆踊りや呉音頭を次世代に引き継ぐなど、地域の伝統文化の継承と世代間交流が促進されています。</p>				
事業概要	<p>◇日時 平成29年8月19日(土) 18時～20時30分</p> <p>◇場所 二河川公園, 二河川河川敷</p> <p>◇内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夜店(二河川公園) カレー, おでん, 焼きそば, ジュース・かき氷, ビール, フランクフルト, フライドポテト, 枝豆, 焼き鳥 ※全体のメニューは同じだが, 毎年, 担当自治会がローテーションで交代 ・ゲームコーナー(二河川河川敷) 風船ヨーヨー釣り, くじ引き, お菓子釣りなど(子ども無料) ・盆踊り(二河川河川敷) 呉音頭だけでなく炭坑節などにあわせて参加者みんなで盆踊り <p>※当初8月20日(日)の予定を, 悪天候との天気予報のため 19日(土)に変更して実施</p>				
この事業を企画・実施した人	<ul style="list-style-type: none"> ・地区社会福祉協議会とまちづくり委員会が協力して実施 (子ども会, 呉音頭普及部会, 各自治会も参加) 				
苦労した点	<p>毎年, 夜店で出す食べ物などのメニューを各自治会がローテーションで担当するため, 材料の調達や準備などが毎年変わり, その対応に苦慮していたが, レシピ等を作成して次の自治会に引き継ぐことによって改善を図っています。</p>				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>「ふれあいまつり」のはじまり</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>子どもゲームコーナー(無料)</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>各自治会による夜店</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>盆踊り</p> </div> </div>				

番号	20	団体名	第8地区まちづくり委員会 及び 第8地区社会福祉協議会	代表者	中田 清和 (事業実施時)
事業名	とんど祭り			事業費	
事業の目的	<p>心ふれあうまちづくりの推進のため、まちづくり委員会と地区社会福祉協議会を中心に、地元青年団、消防団などの協力によって、地区内の恒例伝統行事として毎年開催しています。</p> <p>市中心部では「とんど」を行っているところは少なく、第8地区では、近隣地区からもしめ飾りを燃やしたい人たちを受け入れており、中央地域全体の「とんど祭り」として広がりを見せています。</p>				
事業概要	<p>◇日時 平成30年1月21日(日) 13時点火～15時30分 (16時30分片付け終了)</p> <p>※当初の日程は1月14日でしたが、準備予定の日が雨のため1週間延期となりました。</p> <p>◇場所 二河川公園、二河川河川敷 ◇参加人数 約500人</p> <p>◇内容 ○とんど(二河川河川敷)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青年団を中心に、ワラや竹(1.6m)などの材料を調達して、1月14日にとんどの「やぐら」を組みました。 ・会長(体調不良のため宮中三条3区自治会長)あいさつの後、その年の干支(今年は戌年生まれの人)生まれの人たちによってとんどに点火しました。 ・とんどでできた炭で餅などを焼いたり竹筒で酒を温めて無病息災を祈りました。 ・今年も、海外からの留学生や研修生(50名以上)が参加し、自分たちで書いた書き初めをとんどで燃やしたりして日本の伝統文化を経験しました。 <p>○模擬店(二河川公園)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第8区民生委員児童委員協議会が「ぜんざい」を振る舞いました。 				
この事業を企画・実施した人	<ul style="list-style-type: none"> ・地区社会福祉協議会、まちづくり委員会、自治会連合会、地区民生委員児童委員協議会、青年団、消防団など 				
苦勞した点	<ul style="list-style-type: none"> ・とんどの「やぐら」組みや材料の調達など。 ・特にとんどの「やぐら」組みは、青年団を中心にとんど実施前から多くの時間と人手をかけて組み上げています。(本年度は1月14日(日)を中心に組み上げました) 				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">  <p>字がうまくなるように書き初めを燃やします</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>民児協の「ぜんざい」の振る舞い</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>勢いよく燃え上がるとんど</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>とんどでできた炭で餅などを焼いて無病息災</p> </div> </div>				

番号	21	団体名	三条地区まちづくり委員会	代表者	山上 文恵
事業名	ふれあい広場三条運営事業（地域活動支援事業）			事業費	約360,000円 (家賃補助等)
事業の目的	<p>誰もが気軽に集える「ふれあい広場」は、三条商店街の空き店舗をまちづくり委員会が借受け、平成24年9月に開設。まちづくり委員会が家賃を支出、整備や運営はすべてボランティアスタッフが当たる手作りの施設です。</p> <p>高齢者には、地域の中での人とつながり、安心して暮らしていくための「よりどころ」として利用され、放課後には子どもたちが集う、笑い声が絶えない憩いの場になっています。日常利用だけでなく季節毎のイベントも開催され、まちづくり計画に掲げた地域課題を解決するための各事業をこの広場で実施し、「住んでよかった、いつまでも住み続けたい両城・三条地区」にしていきたくと頑張っています。</p> <p><u>何よりもボランティアスタッフの皆さんが、いきいきとやりがいを感じ、楽しんで運営にあたっておられます。</u></p>				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・場 所 呉市三条2丁目15-20「毛糸きくや」跡の空き店舗 (平成24年9月8日オープン) ・活動時間 毎週月曜日～土曜日(日曜・祝日は休所日) 10時～16時30分 ・面 積 (間口) 3m×(奥行) 12m=約36㎡(約11坪) 家賃 3万円/月 ・利用料金 無料(お茶無料, コーヒー100円, かき氷100円(夏季限定)で提供) 誰でも無料で利用できる無料休憩所 ・運営体制 1日3人のボランティアにより運営(合計18人役/週) ・メンバー 三条まちづくり委員会会員, 各自治会関係者, 民生児童委員, 赤十字奉仕団会員, 運動推進委員, 一般住民など ・利用実績 最近の利用人員 月平均 500人, 一日平均 25人 <ul style="list-style-type: none"> ・平日はお茶や弁当をいただきながらの気まぐれおしゃべり会 ・男性陣は囲碁や将棋の腕試し ・放課後と土曜日は, 子ども(小学生)の居場所 ・イベント 4月-お花見会, 6月-七夕飾りづくり, 7月-第5回夏祭り 9月-オープン5周年記念事業, 12月-クリスマス会 2月-節分豆まき, 3月-震災を忘れないために11コンサート(毎年開催) <p>その他, 定期的に「うた声広場」, 「らくらく体操教室」, 「手芸教室」などを開催</p>				
この事業を企画・実施した人	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい広場三条の会 <ul style="list-style-type: none"> ・誰でも(特に高齢者)が立ち寄れる場所を切望していた地域の有志数名 ・ふれあい広場を開設するにあたり, 「ふれあい広場三条の会」を設立 ・まちづくり委員会から財政支援(家賃と平成25年度限定で空調やパソコン整備)と人的支援を受けています。 				
苦労した点	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり委員会との協力体制の構築 ・利用者の増加や事業の多様化に伴い, スペースの手狭感が増しています。 ・常駐するボランティアスタッフの確保(後継者の確保) ・自主財源の確保 				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>第5回ふれあい広場夏祭り</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>子ども達によるよさこい呉楽</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>ふれあい広場5周年記念事業</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>クリスマス会(有志によるハンドベル演奏)</p> </div> </div>				

番号	22	団体名	三条地区まちづくり委員会	代表者	山上 文恵
事業名	八畳岩登山（登山道整備・登山）			事業費	6,378円 (整備費, 保険等)
事業の目的	<p>地域の裏山にあって、かつて地域の人達が慣れ親しんでいた「八畳岩」への登山道が、人の手が入らないようになってから荒れ果てていました。</p> <p>6年ほど前からまちづくり委員会では、消防団の協力を得て、八畳岩までの登山道を整備し、参加者を募って春に八畳岩までの登山を行っています。</p> <p>みんなで登る八畳岩は、地域のすばらしさの再発見と地域住民の絆づくりに貢献しています。</p>				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・日時 整備：平成29年4月8日（土）10時（集合）～12時 登山：平成29年4月16日（日）10時（集合）～13時（下山） ・参加者 15名 ・内容 <ul style="list-style-type: none"> ・八畳岩登山道整備事業 毎年、登山前に時間をかけて登山道を整備（消防団も協力） ・八畳岩登山 清掃や除草などをしながら八畳岩に登り、後にみんなで昼食を食べた。（消防団も協力） <p>【集合】両城小学校校庭に集合 → 保険申込（記入） → 準備運動 【登山】八畳岩に向けて、清掃・除草などをしながら登山 【山頂】八畳岩にて記念撮影、山頂から自分たちの住むまちを眺望 【下山】足元に気をつけながら、清掃・除草などをしながら下山して昼食</p>				
この事業を企画・実施した人	<p>まちづくり委員会内の「階段のまち」部会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり委員会内にまちづくり計画に掲げる各種事業を実施するための部会を設置し、部会長を中心に事業を実施しています。 ・八畳岩登山は、地域内の良さ（お宝）を再発見し、それを維持、保存するとともに、広く住民に周知し、自分たちの住む地域に対する愛着を深める事業を展開しています。 				
苦労した点	<ul style="list-style-type: none"> ・登山道整備箇所が多く全体の整備には時間がかかっていましたが、年々環境が整い、落葉除去程度で済むようになりました。 ・整備機材や材料などの運搬が大変でした。 ・整備をしながらの登山・下山であるため、負担が大きく大変でした。 				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  </div> </div>				
	八畳岩で記念撮影		登山道整備		

番号	23	団体名	両城・三条地区自主防災会	代表者	中本政人
事業名	地域住民・両城小学校生徒合同防災訓練			事業費	約135,000円
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> 毎年、小学生から高齢者までの各自が主体性を持って、消火器や水消火器による消火訓練、煙中体験、ロープ結索訓練、人口呼吸等の救急・救命訓練、簡易担架による搬送訓練など5つの訓練に取り組み、災害時における自助・共助での地域力向上を図っています。 急傾斜地を多くかかえるまちだけに、防災をまちづくりの柱の一つに位置づけ、地域のみんなで災害時の対応の問題点を洗い出すことで、より多くの命が助かるよう、住民の危機管理意識を育てています。 				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 日時 平成29年10月1日（日） 9時～12時 参加者 両城小学校生徒及び教諭115名、地域住民145名、消防署・消防団・市役所26名 計286名 訓練内容 <ol style="list-style-type: none"> 次の訓練をグラウンドで実施 <ol style="list-style-type: none"> 消火器とオイルパンや、水消火器とボード板を使用した消火訓練 煙体験ハウスを使った煙中体験 鉄棒とロープの非常時結索訓練 次の訓練を体育館内で実施 <ol style="list-style-type: none"> 心肺蘇生訓練用人形をつかった心臓マッサージ等の救急・救命訓練 棒と毛布の簡易担架による搬送訓練 				
この事業を企画・実施した人	<ul style="list-style-type: none"> 両城・三条地区自主防災会 				
苦勞した点	<ul style="list-style-type: none"> 自治会と学校を中心に広報して、小学生から高齢者まで多くの人に参加してもらっているが、若い人では小さな子どもをもつ母親は参加しているが、父親は参加していないという状況が見られた。 いろいろな人に体験して訓練してもらうことにより、災害時の対応にゆとりがでるため、次回はさらに新規の参加者を増やしていきたい。 				
活動状況	 <p>消火訓練</p>		 <p>煙中体験</p>		
	 <p>救急・救命訓練</p>		 <p>搬送訓練</p>		

番号	24	団体名	川原石地区まちづくり委員会	代表者	川畑 勝之
事業名	川原石地区盆踊り大会			事業費	787,165円 ※H28年度実績
事業の目的	<p>川原石地区では、かつて地域の伝統文化であった「川原石踊り」を平成22年に46年ぶりに復活させ、その伝統文化を引き継ごうと盆踊り大会で踊り継ぐ取組をおこなっています。</p> <p>また、地域の「面識社会」実現の手法として、うちわによる抽選会や民生委員・消防団等の地域団体がかつての夜店を演出し、かき氷やポップコーン、スーパーボールすくい等を企画・実行し、一人でも多くの地域住民の参加を促すことで、絆づくりを図るよう工夫を凝らしています。</p> <p>こうして各世代・各団体が役割分担をして事前準備・後片付けを行うことや行事を継続することで、地域ぐるみで、この伝統文化継承に取り組んでいます。</p>				
事業概要	<p>◇日時 平成29年8月14日(月) 18時～20時40分 ※前日準備：9時～</p> <p>◇場所 マリンパーク川原石および二川まちづくりセンター</p> <p>◇内容 ①盆踊り(川原石踊り, 呉音頭, 炭坑節, アンパンマン音頭) ②うちわくじを使ったお楽しみ大抽選会 ③かき氷, ポップコーン, 風船ヨーヨーつり, スーパーボールすくいなどの夜店の開店 ④消防団による防災ビデオの上映</p> <p>◇参加者数 地域住民約700名参加 ※雨天のため, ①②は二川まちづくりセンター2階ホールで実施, ④は中止</p>				
この事業を企画・実施した人	<p>川原石地区まちづくり計画の大きな柱の一つである「住民の絆づくり」・「世代間交流」と「地域文化の継承」を目指し、まちづくり委員会や自治会連合会を中心に川原石地区各団体が参加・実施し、オール川原石で取り組む大イベントに成長しました。</p>				
苦労した点	<p>地域に「川原石踊り」を踊れる人が年々高齢化し少なくなるなか、日赤川原石分団を中心に習得し、現在はその人たちが先生となって7・8月の毎土曜日に伝承会を開催しています。同時に太鼓の練習や継承も行っていますが、踊りも太鼓のリズムも独特で習得が一朝一夕にはいかず、繰り返しの練習が必要であると感じています。</p>				
活動状況	 <p>地域団体が集まって準備をしました</p>		 <p>夜店は子どもたちでいっぱいです</p>		
	 <p>太鼓にあわせて川原石踊り</p>		 <p>みんな“アンパンマン”になりました</p>		

番号	25	団体名	川原石地区まちづくり委員会	代表者	川畑 勝之
事業名	川原石地区合同防災訓練			事業費	234,520円 ※H28年度実績
事業の目的	<p>川原石地区では、その地形の特性から、土砂災害発生の大危険性が大きいと考え、例年、土砂災害に備える活動に取り組んでいます。</p> <p>今年度も、大雨による土砂災害を想定し、身を守るために必要な知識や技術を習得するために、自主防災アドバイザーの防災講話を聴いたり、煙中体験や心肺蘇生法、初期消火訓練、炊き出し訓練など幅広い防災活動の体験を通じて、災害に備える心構えを養うべく訓練を実施しました。</p>				
事業概要	<p>◇日時：平成29年8月27日（日） 午前9時～9時30分：避難訓練等 午前9時30分～12時：防災講話および防災訓練</p> <p>◇場所：二川まちづくりセンター及びグラウンド</p> <p>◇内容：(1) 避難・誘導訓練、情報収集訓練、避難所運営訓練 (2) 防災講話（広島県自主防災アドバイザーによる防災講話） (3) 防災訓練 ①煙中体験訓練 ②心肺蘇生法 ③初期消火訓練 ④炊き出し訓練</p> <p>◇参加者数：地域住民約180名が参加</p>				
この事業を企画・実施した人	川原石地区まちづくり委員会と川原石地区自主防災会が中心となり、消防局予防課、西消防署及び消防団湾岸分団の指導により実施しました。				
苦勞した点	<ul style="list-style-type: none"> ・実際の災害に即した防災の理論と実践を学ぶ訓練にするため、どのような内容にするかを綿密に話し合ったこと。 ・参加者に「いざというときに正しく素早い行動で命を守り、周囲の人と協力してどのように災害を未然に防ぐか」を自分の身近な課題として、分かりやすく伝えられるような訓練にすること。 				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>まちづくりセンターに集合して受付</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>自主防災アドバイザーによる防災講話</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>心肺蘇生法</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>初期消火訓練</p> </div> </div>				

番号	26	団体名	川原石地区社会福祉協議会及び 川原石地区まちづくり委員会	代表者	川畑 勝之
事業名	川原石地区敬老会			事業費	454,186円 ※H28年度実績
事業の目的	<p>川原石地区では、川原石地区まちづくり計画書にある「各種催し等を総合的に推進できる体制づくりに努める」とともに「世代間交流の場の創出に努める」を目標に、各団体をはじめとした協働の輪を少しずつ広げながら、敬老者に少しでも喜んでいただける敬老会が開催できるよう努めています。</p> <p>今年度も、地元中学生が司会進行するなど、地元の団体やグループ、幼稚園、小中学校、公共施設等が協力したことにより、地域全体の団結力向上、体制づくりにも役立っています。</p>				
事業概要	<p>◇日時 平成29年9月18日(祝) 9時30分～12時10分 ※前日準備：13時～</p> <p>◇場所 二川まちづくりセンター2階ホール</p> <p>◇敬老会招待者 848名(うち、米寿者：21名)</p> <p>◇来場者数 約400名(うち、敬老会招待者：181名)</p> <p>◇内容 式典：①開会のことば ②国歌斉唱 ③物故者黙祷 ④主催者代表あいさつ ⑤来賓祝辞および来賓紹介 ⑥児童代表あいさつ ⑦祝電披露 ⑧米寿者記念品贈呈 ⑨被招待者謝辞 ⑩閉会のことば</p> <p>余興(アトラクション)ほか： ①呉警察署「特殊詐欺防止について」 ②「琴、三絃講座」発表 ③「わくわくkids二川(二川児童館)」発表 ④「両城中学校音楽部」歌 ⑤「民謡講座」発表 ⑥「安来節保存会江田島能美支部」発表 ⑦「大正琴講座」発表 ⑧お楽しみ抽選会 ⑨「明德幼稚園園児」踊りと歌</p>				
この事業を企画・実施した人	<p>・地区社会福祉協議会とまちづくり委員会を中心とした地元各団体が協力して実施 ※地元の幼稚園や小中学校、警察署、二川まちづくりセンター・児童館なども全面協力</p>				
苦勞した点	<p>単独地区社協の開催のため派手な行事はできないが、各団体やグループ、幼稚園、小中学校などが協力し、手作りで地元開催ならではの敬老会を行うことができました。 また、祝う者(地域の子どもやおとなの人々)も祝われる者(招待されたお年寄り)も、どちらも笑顔で本当に楽しそうで、中学生の歌「ふるさと」では自然と会場全体で合唱が始まるなど、目標の一つである「世代間交流」が十分できました。</p>				
活動状況	<p>児童代表あいさつ 「わくわくkids二川(二川児童館)」発表</p>   <p>中学生が司会進行</p>    <p>「両城中学校音楽部」歌 「明德幼稚園園児」踊りと歌</p>				

番号	27	団体名	第8地区、三条地区 および 川原石地区（当番）自治会連合会	代表者	大島 正, 中本 政人 および 川畑 勝之
事業名	第8地区・三条地区・川原石地区「第21回町民運動会」			事業費	約320,000円
事業の目的	中央西地域にある第8地区、三条地区、川原石地区の地域住民が互いに連携・協働して合同町民運動会を行い、いつまでも健康で住みやすい地域環境の構築を目指すとともに、地域間の連携や交流を促進し、広範囲でのまちづくりに関する取組に繋げていくことを目的としています。				
事業概要	<p>○日時 平成29年9月24日（日）8時30分～ ○場所 マリンパーク川原石</p> <p>○内容 ◇開会式 ・開会宣言 ・主催者あいさつ ・来賓祝辞 ・選手宣誓 ・準備体操</p> <p>◇公開演技（地元幼稚園児・こども園児による遊戯）</p> <p>◇競技 ①50m競争 ②ゲートはどっち ③小学生玉入れ ④大玉ころがし ⑤未就学児童かけっこ ⑥パン食い競争 ⑦中学生以上玉入れ ⑧今夜の一品 ⑨バケツリレー ⑩小学生リレー ⑪混合リレー</p> <p>◇閉会式 ・表彰 ・あいさつ ・閉会宣言</p> <p>○参加者 約1,200人</p> <p>○成果 ・二河川以西の中央地域に位置し、地域住民の生活文化圏も重なっている3地区が連携して合同町民運動会を開催することにより、合同開催のスケールメリットを活かすとともに、住民相互の親睦と絆を深めることができた。</p> <p>・子どもから大人まで楽しめる競技種目を実施したことにより、3地区内の未就学児や小・中学生から高齢者まで幅広い世代間交流にも繋がった。</p>				
この事業を企画・実施した人	<ul style="list-style-type: none"> ・第8地区、三条地区、川原石地区各自治会連合会（主催）・呉市中央西体育協会（主管） ・第8区・第9・10区各民生員児童員協議会 ・第8区東老人クラブ連合会 ・第8地区、両城三条地区、川原石地区各健康づくりのための運動普及推進協議会 				
苦労した点	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者も青年が少なくなり高齢化している。 ・前日のテント張りや当日の準備に多くの人が集まりにくく時間がかかった。また、役員も高齢者が多くなり力仕事には苦慮しているが、役割を分担し助け合うことで実施できた。 				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">  <p>公開演技（地元園児による遊戯）</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>小学生玉入れ</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>バケツリレー（防災訓練）</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>小学生リレー</p> </div> </div>				

番号	28	団体名	中央地域成人式実行委員会	代表者	中本 政人 (平成29年度)
事業名	中央地域成人式 (第2, 第3, 第4, 第5, 第6, 中央, 第8, 三条, 川原石及び自衛隊で合同開催)			事業費	1,043,000円
事業の目的	今年で9年目となる中央地域9地区と海上自衛隊の「中央地域成人式」。 本庁管内の9つの自治会連合会と海上自衛隊呉海曹会が合同で実行委員会を立ち上げ、新成人が生まれ育った地域の方々(祝う人)と新成人(祝われる人)の「顔と顔の見える」「より心の通った」ものに移行・発展させていくため、地域協働課や文化振興課などの行政も一緒になり、協働という形をとりながら開催している。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・日時 平成30年1月8日(祝) 11時～13時 ・場所 くれ絆ホール(式典及びはたちの大抽選会), 呉市役所1階シビックモール(はたちの同窓会ほか)及び中央公園噴水前広場(地域の贈り物) ・内容 <ul style="list-style-type: none"> (1) くれ絆ホール 参加者数 326人(男170名, 女156名) 参加率61.9%(自衛隊を除く参加率84.6%) <ul style="list-style-type: none"> ①記念式典(成人リーダーの司会進行, 記念品・花束贈呈, はたちの誓いなど) ②はたちの大抽選会(成人リーダーの企画・進行で開催される抽選会) (2) 本庁1階シビックモール <ul style="list-style-type: none"> ①はたちの同窓会(なつかしい学友や恩師を囲んでの同窓会) ②記念撮影コーナー(常設) ③誓いのボード(新成人が, はたちの誓いをボードに書き込む・常設) ④「着付け110番」(ボランティアによる着付け支援) (3) 中央公園噴水前広場 <ul style="list-style-type: none"> ①地域の贈りものブース(各地区や自衛隊からの食べ物でのおもてなし) ・その他 地区や市立呉高等学校生徒ボランティアによる受付, ステージ及び模擬店開催等の支援や, 市役所職員ボランティアによる模擬店支援など 				
この事業を企画・実施した人	<ul style="list-style-type: none"> ・中央地域成人式実行委員会(メンバーは中央地域の9つの自治会連合会会長, 海上自衛隊呉海曹会会長及び事務局(呉市地域協働課, 文化振興課)) ・成人リーダー(各地区・自衛隊の新成人から立候補した新成人代表) 				
苦勞した点	<ul style="list-style-type: none"> ・会場をくれ絆ホール, 本庁1階シビックモール及び中央公園の3つとし, 地域の贈りものブースは公園噴水前に設置しているが, 雨天時にシビックモール内に人が滞留し, 地域の贈り物ブースへの人の流れがうまくいかなかった。 				
活動状況	 <p>式典(主催者挨拶)</p>		 <p>誓いのボード</p>		
	 <p>記念撮影コーナー</p>		 <p>地域の贈りものブース(餅つき)</p>		

番号	29	団体名	吉浦まちづくり委員会	代表者	尾茂田 孝信
事業名	第27回 詩歌創作大会			事業費	約100千円
事業の目的	<p>郷土に伝わる古歌「よし浦のさと」（藤原為時（紫式部の父）が詠んだ歌）の碑が町民グラウンド公園内に建設されています。</p> <p>これを地区の文化財として大切に守り伝えるとともに、小・中学生による詩歌創作大会を歌碑周辺において開催し、青少年・児童の情操教育並びに、文化の向上を目標としています。</p>				
事業概要	<p>1 事業内容 詩歌創作とお茶席（抹茶）体験 実施年月日：平成29年5月13日（土） (1) 児童及び生徒による短歌づくり 吉浦の自然にふれ、感じたままを5, 7, 5, 7, 7の言葉で表現する。 →後日、審査員会にて優秀作を選び、表彰する。 (2) お茶席 お茶の先生の指導のもと、お茶席を体験。 抹茶と饅頭で楽しく過ごす。</p> <p>2 参加者数 吉浦小, 吉浦中の児童及び生徒 約80名 保護者, 運営スタッフ等 約120名 合計 約200名</p>				
この事業を企画・実施した人	詩歌創作大会実行委員会（吉浦地区の民児協ほか7団体で構成）				
苦労した点	<p>(1) 今年度は当日、雨天のため、まちづくりセンターに会場を変更しました。毎年天候状況に左右されています。</p> <p>(2) 小学校では高学年で短歌を学習することもあり、低学年にとって創作は難しいことかもしれませんが、子供らしく、見たまま、感じたままを素直に表現するように、また、中学生には「吉浦」という言葉ではなく、「吉浦」とわかる言葉や語句等での表現に努めるよう指導しています。</p>				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;">  </div> <div style="width: 50%;"> <h2 style="text-align: center;">古歌「よし浦のさと」</h2> <p style="text-align: center;">藤原為時 作</p> <p style="text-align: center;">「かくまでに、思はざりしに、来てみれば いと住みやすき、よし浦のさと」</p> <p>* 吉浦の吉は、豊臣秀吉が名付けたとのいわれがあります。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="width: 45%;">  <p style="text-align: center;">開会式</p> </div> <div style="width: 45%;">  <p style="text-align: center;">お茶席</p> </div> </div>				

番号	30	団体名	吉浦まちづくり委員会	代表者	尾茂田 孝信
事業名	第12回 吉浦地区防災訓練			事業費	約100千円
事業の目的	吉浦地区全体で防災活動の機運を高め、楽しみながら消火活動や避難の模擬体験をし、さらなる地域の防災意識の高揚を図ることを目的として、平成18年度から継続して訓練を実施しております。				
事業概要	<p>日時 平成29年10月15日(日) 10時～12時 ※準備は7時30分～</p> <p>場所 吉浦小学校</p> <p>内容 (1) 第1部(避難・誘導訓練)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・吉浦各地区から吉浦小学校へ徒歩での避難開始《地区住民約200名》 ・吉浦小学校へ避難者を誘導《自治会長、民生・児童委員》 <p>(2) 第2部(実地訓練)</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 初期消火訓練(消火器による消火訓練) イ 避難訓練(災害時の非常持ち出し品の訓練) ウ 応急救護訓練(重傷者への応急処置、AED使用方法の講習) エ 防災講話 <p>(3) 第3部(給食・給水訓練)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・吉浦女性会による炊き出し(むすび、みそ汁等) ・民生・児童委員による災害備蓄食品(お茶、災害備蓄食品)の配布、試食 				
この事業を企画・実施した人	平成18年度に、吉浦地区自治会連合会が消防庁の安心安全ステーション整備事業のモデル地区に選ばれ、これを機に吉浦地区全体で防災活動の機運を高めていくために、西消防署や地元消防団の御指導をいただきながら、吉浦女性会、民生・児童委員協議会をはじめとする各種団体の協力のもと事業を始めました。				
苦勞した点	炊き出しの迅速性を高めるためにカセットコンロを導入しましたが、参加者の高齢化に伴い、機器の運搬等に時間と手間がかかります。若い世代の運営スタッフ等への積極的な参加が求められています。				
活動状況	<div style="text-align: center;">  <p>開会式</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>応急手当訓練</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>炊き出し訓練(味噌汁配布)</p> </div> </div>				

番号	31	団体名	吉浦まちづくり委員会	代表者	尾茂田 孝信
事業名	よし浦まちづくり発見隊 フィールドワークin竹原			事業費	約71千円
事業の目的	<p>吉浦町においては、絆づくりは人づくりと考え、人材の育成研修をまちづくりの重要推進テーマと考えています。そのため、この事業を、「よし浦まちづくり発見隊」と名付け、25年度から取組を行っているものです。その目的は、ふるさとよし浦・くれの良さの再発見及びくれ市外の優れたまちづくりの良いところを自ら実地に調査研究することにより、吉浦まちづくり委員会の委員等において、今後の地域力向上・発展に繋がる人材発見・育成の推進を図る（よし浦まちづくり発見隊事業実施要綱第1条）ものです。</p>				
事業概要	<p>まちづくり委員会で、竹原市へ視察研修に行きました。</p> <p>日時 平成30年1月26日（金） 10時～ 場所 アヲハタジャムデッキ、町並み保存地区ほか 内容 参加人員 計21名（委員13名、委員外町内在住者8名） 学んだ点 竹原市の「歴史と産業を活かしたまちづくり」 →「吉浦八幡神社」や「水龍」の酒蔵等の歴史的建物も現存する 吉浦町の特色あるまちづくりの振興への検討</p>				
この事業を企画・実施した人	吉浦まちづくり委員会				
苦労した点	<p>今回の研修で、吉浦町の歴史や産業を活かし、地域の活性化を推進する方策について、参加者が改めて考察することができた。しかし、高齢化が進む吉浦町で、具体的に実現するためには、課題も多くあり、難問である。</p>				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>研修の様子 (アヲハタジャムデッキ)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>町並み保存地区</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>竹鶴政孝&リタ像</p> </div>				

番号	32	団体名	警固屋まちづくり協議会	代表者	前山 薫
事業名	第21回 警固屋さくら祭			事業費	529,873円
事業の目的	警固屋地区における地域まちづくりのシンボリックイベントとして、地元住民を中心に自立した運営を進めることにより、地域住民のまちづくりへの参画及び地域内外の交流の促進を図ることを目的として実施しております。				
事業概要	<p>日時：平成29年4月2日（日） 10時～14時 場所：警固屋まちづくりセンター駐車場 内容：①イベントの部 【ステージ】 出演団体：日新製鋼シルバーサウンズ，警固屋みらい保育園，消防団はしご隊，鍋保育所，警固屋小学校，鍋ひよっこ踊り同好会，レイフラワーオハナ警固屋，鍋よっしやこい踊同好会，県民踊，メープルカイザーショウ 【子ども関連】 さくら茶屋（警固屋中学校生徒による野点） ②売店の部 地元団体など計12の飲食ブース及び物販ブースを出店 ③フリーマーケットの部 計16のマーケット出店 ④コーナーの部 甘酒（消防団），マツダ車展示（呉郷心会），健康管理（警固屋地区運推），花の苗無料配布</p>				
この事業を企画・実施した人	まちづくり協議会内に設置されている企画部会（部会員14名，オブザーバー1名）が，イベントの企画立案から実施までを担当。この他にも，自治会や女性会，民生委員協議会など地元団体のメンバーが協働し設営から運営，撤去までを行いイベントを盛り上げました。				
苦労した点	ステージや出店等もマンネリ化しており，新しい出し物なども検討しているが，予算も少なく，天候にも左右されやすいので，なかなか実現できない。				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>消防団はしご隊演技</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>メープルカイザー（ヒーローショウ）</p> </div> </div>				

番号	33	団体名	警固屋まちづくり協議会	代表者	前山 薫
事業名	子ども避難体験事業			事業費	146,524円
事業の目的	【避難所での宿泊などを通じた防災訓練の推進と地元住民の連携促進】 被災地でのボランティア体験の話の聞いたり避難所での宿泊や食事を作る体験を行うことで、災害時における対応法を学んでもらうとともに、地域住民との連携・親睦を深めることを目的として実施しております。				
事業概要	日時：平成29年7月22日（土）14時～翌23日（日）9時 場所：警固屋まちづくりセンター（ホール）・体育館など 参加者数：46人（未就学児1人・小学生24人・中学生12人・保護者9人） 内容 <ul style="list-style-type: none"> ○広島中央ヤクルト販売さんのウン知育教室 ○避難所設営：体育館にダンボール等で休息・就寝スペースを設営 ○夕食：自分たちでカレーを作って食べた。 ○自由時間：映画鑑賞 ○朝食：カートンドッグ (材料を入れた牛乳パックを燃やしてホットドッグを作る。) ○清掃 				
この事業を企画・実施した人	まちづくり協議会の構成団体である警固屋小学校PTAが主体となって企画立案し、当日はまち協理事などの協力をいただいて実施しました。				
苦労した点	警固屋小学校PTAの方の参加者も増え積極的に動いて運営してくれたため、終始PTA主導で事業を進めることができました。 大きな苦労はありませんでしたが、夕食にカレーを作ったところ、初めて包丁を持った子も1/3程度いましたが、PTAや中学生が指導してくれたおかげで、けがをした子はいませんでした。 以前は中学生は少数でしたが、今年は今年の6年生が多く参加してくれました。				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>みんなでカレーを作って食べました。</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>ダンボール使用した避難所設営</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>ウン知育教室</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>カートンドッグを作っている</p> </div> </div>				

番号	34	団体名	警固屋まちづくり協議会	代表者	前山 薫
事業名	地域貢献人材発掘育成事業			事業費	15,833円
事業の目的	警固屋地区のイベントなどへの参加を通じ、地域まちづくりに貢献してくれる新たな人材の発掘・育成を図ることを目的として実施しております。				
事業概要	<p>日 時：平成29年9月18日（祝）8時30分～9時30分（宇佐神社） 平成29年10月7日（土）8時30分～9時30分（貴船神社）</p> <p>場 所：（宇佐神社）警固屋4丁目 宇佐神社境内及び近辺 （貴船神社）警固屋8丁目 貴船神社境内及び近辺</p> <p>参加者：（宇佐神社）小学生25名，中学生26名，教員10名，自治会役員等30名 （貴船神社）小学生17名，中学生21名，教員9名，自治会役員等20名</p> <p>内 容：行事に興味を持ってもらうため，秋祭り前の幟立て等を行う際に準備風景を見ながら小中学校の児童生徒にも清掃活動に参加してもらう。</p>				
この事業を企画・実施した人	まちづくり協議会理事役員の方が企画し，この他にも，警固屋小中学校，自治会などに協力していただきました。				
苦労した点	学校行事ではなく地域行事として任意参加であるため，どの程度の参加協力が得られるか不安でしたが，多くの人に参加してくれて有意義な事業になりました。				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">宇佐神社 清掃活動</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">貴船神社 清掃活動</p>				

番号	35	団体名	阿賀まちづくり推進協議会	代表者	加藤忠二
事業名	まちづくり若者提案事業			事業費	450千円
事業の目的	<p>阿賀のまちづくりに関心を持っている若い人たちを募集し、若者の発想により提案されたまちづくり事業を実施する。</p> <p>このことにより、地域づくり・まちづくりに関心を持つ若者の発掘と波及効果により若い世代の人たちにまちづくりに興味・関心を持ってもらう。</p>				
事業概要	<p>メンバー募集(随時)、会議の開催(平均月2回程度)</p> <p>現在、メンバーは呉高専の学生を中心に社会人を含め約20名</p> <p>メンバーの自由な発想で阿賀を元気にする方策を話し合い、事業を企画し提案する。協議会にてプレゼンテーションを行い、承認を受けたうえで事業を実施する。</p>				
この事業を企画・実施した人	阿賀まちづくり推進協議会				
苦労した点	仕事や学業などそれぞれの事情があり、会議に全員がそろうことは難しかった。				
活動状況	<p>毎月定期的集まり、会議を開きイベント等を企画・運営した。</p> <p>平成28年11月から平成29年8月を募集期間とする「阿賀の写真コンテスト」を開催し、阿賀の魅力あふれる写真が多数応募があった。その応募のあった写真を使用し、2018年阿賀カレンダー「あがごよみ」を作成するとともに阿賀地区の住民の方々へ配布した。</p> <p>住民の方から「阿賀を離れた子供へ送りたい」といった問い合わせを多く受けるなど、地域の魅力を再発見するきっかけとなった。</p> <p>平成29年12月16日(土)に「おいでよ大空遠足」を実施した。この行事は子供から高齢の方まで幅広い世代の方々66名が参加され、大空山の山頂を目指して歩くとともに、山頂でも阿賀地区の地名パズルや阿賀の民話を題材にした紙芝居など、様々な催しを行い世代間の交流を図った。</p> <p>この行事は若者提案事業の若者たちだけではなく、原小学校の児童も企画・運営に参加したが、行事の準備、実施を通して児童らの郷土愛の醸成にも寄与した。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">阿賀カレンダー「あがごよみ」平成29年12月発行</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">「おいでよ大空遠足」平成29年12月16日</p> <div style="display: grid; grid-template-columns: repeat(3, 1fr); gap: 5px;">       </div> </div>				

番号	36	団体名	阿賀まちづくり推進協議会	代表者	加藤忠二
事業名	あがまち銘板事業			事業費	150千円
事業の目的	<p>阿賀まちづくり推進協議会では阿賀の旧町名にまつわる歴史や伝統などを遺していくため、「まちしるべ」石柱設置事業を実施した。</p> <p>阿賀には、隠れた歴史的な名所・旧蹟・伝承などがあるが、その場所や由来を示す標識などはほとんど設置されていない。</p> <p>そこで、由来や伝承などを書いた銘板を設置し、地元の歴史的資源を知ってもらうとともに、郷土への関心を高めていこうとするもの。</p>				
事業概要	<p>アクリル板で銘板を作成し、地域に銘板を設置していく。</p> <p>○場所の選定、文章の作成：阿賀歴史文化研究会 ○デザイン：呉工業高等専門学校 ○銘板作成：呉工業高等専門学校(アクリル板をレーザー加工) ○設置：阿賀歴史文化研究会、地元の自治会・住民のみなさん</p> <p>現在、銘板の設置場所の候補として80カ所を選定しており、うち約30カ所について銘板へ記載する文章を具体的に検討している。26年度は7カ所、27年度は5カ所、28年度は5カ所、29年度は3カ所設置し、合計20カ所に設置した。</p>				
この事業を企画・実施した人	阿賀まちづくり推進協議会				
苦勞した点	内容や設置場所について阿賀歴史文化研究会のメンバーで何度も話し合いを重ね、設置にあたっては地元自治会の人たちと一緒に設置した。				
活動状況					

番号	37	団体名	阿賀まちづくり推進協議会	代表者	加藤忠二
事業名	今昔子どもふれあい大会			事業費	650千円
事業の目的	<p>阿賀のみんなが集い参加して盛り上がっていきける町民の祭りを開催するもの。 阿賀地区では昭和40年頃から、女性会・老連・子ども会が合同で「今昔子ども創作大会」を開催してきた。平成23年度から、この大会を阿賀町全体の祭りにするため、阿賀まちづくり推進協議会の主催とし、阿賀の地域団体全てが参加して「今昔子どもふれあい大会」として開催している。</p>				
事業概要	<p>今の子どもと昔の子どもが集い体験交流を深める事業として『今昔子どもふれあい大会』を実施。 阿賀まちづくり推進協議会の各団体、アガデミア参加学校等、地元企業の協力によりイベントや屋台、ステージアトラクションなどを実施した。</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○イベント プラバンづくり、マスコットづくり、書道体験、アートバルーン、紙ひこうき、豆つかみ競争、紙ずもう、竹細工、折り紙、飲酒運転体験メガネ、交通安全グッズ配布、ものづくり体験ほか ○屋台 炊き込みごはん、焼きそば、うどん、お好み焼き、綿菓子、ポップコーン、中華おこわ、カレーライス、くじびき、ジュースほか ○ステージ 吹奏楽演奏（市立呉高等学校、広島文化学園大学）、バンド演奏（県立呉工業高等学校）、よさこいソーラン（阿賀中学校・YAMATOくれびと） 				
この事業を企画・実施した人	阿賀まちづくり推進協議会				
苦勞した点	参加団体が多いため、事前の連絡調整の徹底が必要であった。				
活動状況					

番号	38	団体名	広まちづくり推進協議会	代表者	吉井 光廣
事業名	第44回広子ども祭			事業費	1,800千円
事業の目的	広地区の子どもたちの健全な育成を願って地域の大人と子どもが一体となって開催する伝統行事。				
事業概要	<p>【日時】平成29年5月14日（日）11時～16時</p> <p>【場所】広公園，白岳小学校</p> <p>【内容】①交通安全おみこしパレード（広商店街～広公園）</p> <p>②広公園会場／ 夢ふうせん，遊び広場</p> <p>③白岳小学校会場／ 消防コーナー，リサイクル・エコロジー学習コーナー</p>				
この事業を企画・実施した人	<p>主催：広まちづくり推進協議会</p> <p>共催：広地区社会福祉協議会，呉市赤十字奉仕団広分団</p> <p>主管：広子ども祭実行委員会，広子ども会連合会</p> <p>※その他，協力・協賛団体あり</p>				
苦勞した点	関係団体との連絡調整				
活動状況	<p>来場者数 約2,500人</p> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">  <p>交通安全おみこしパレード</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>夢ふうせん</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>手作りおみこし</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>開会式</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>消防コーナー</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>遊び広場</p> </div> </div>				

番号	39	団体名	広まちづくり推進協議会	代表者	吉井 光廣
事業名	第69回広地区教育祭			事業費	2,900千円
事業の目的	<p>広村の先人が遺した旧広村公会堂前（現・広小学校）にある「教育第一」の石碑の精神を受け継ぎ、昭和24年から毎年開催。「学ぶ・創る・楽しむ・夢がひろがる」をスローガンに、世代を問わず、文化行事からスポーツまで地域を挙げて行う伝統行事。</p>				
事業概要	<p>10、11月のおよそ1か月間をかけて、作品展示や舞台発表、文化講演会、教育功労者表彰式、交流広場などを開催。また、関連事業として、音楽祭、合唱祭、歴史講演会といった特色ある文化行事やスポーツ大会を開催している。</p>				
この事業を企画・実施した人	<p>主催：広まちづくり推進協議会，呉市 共催：広地区社会福祉協議会，呉市赤十字奉仕団広分団 主管：広地区教育祭実行委員会ほか ※イベントごとに実行委員会を設立 後援：呉市教育委員会 ※その他，協力・協賛団体あり</p>				
苦勞した点	<p>関係団体との連絡調整，参加者（団体）の事前準備</p>				
活動状況	<p>期間中の延来場者数 約14,000人</p> <p>■第7回広地区音楽祭 10月22日（日） 広地区中学・高校・大学の吹奏楽部と社会人バンドが集う音楽イベント。地域の一体感の創出と技術のレベルアップを目的に、定着したイベントになっています。</p>  <p>■教育功労者表彰式 11月23日（祝・木） 広地区の教育文化の向上に寄与した個人・団体を表彰する式典。今年は個人11名と1団体を表彰しました。</p>  <p>■文化講演会 11月23日（祝・木） 毎年，著名人による文化講演会を開催。今年は呉市立呉高等学校硬式野球部監督の中村信彦さんを招いて「私の野球人生と教育論」～努力することで夢は叶う～と題して開催しました。</p>  <p>■第6回広地区合唱祭 11月26日（日） 広地区のコーラスグループの交流，夢や希望を与えるイベントとして文化の向上に寄与している。</p>  <p>■その他，児童・生徒の作品展，講座・サークル活動の発表，高校生による大書揮毫，歴史講演会「愛ひろ心」，交流広場，健康コーナーなど，期間中はたくさんの関連行事を開催しています。</p>				

番号	40	団体名	広まちづくり推進協議会	代表者	吉井 光廣
事業名	第14回広地区クリーン活動			事業費	110千円
事業の目的	小・中学校を中心とした年末のクリーン活動を地域が一体となって実施することで、世代間交流を促進し、まちの環境美化意識を啓発する。				
事業概要	<p>【日時】平成29年12月6日（水）13時～16時</p> <p>【場所】広地区小学校，中学校（集合・解散場所）</p> <p>【内容】学校区ごとに実施する清掃活動。各児童・生徒をはじめ地元市民団体も参加し、一緒に清掃活動に取り組むことで、学校区域内の明るい環境を整備するとともに、地域のつながりを持つことで、登下校等の安心と安全につながっている。</p>				
この事業を企画・実施した人	<p>広まちづくり推進協議会・広地区小中学校（合同事業）</p> <p>協力：地区自治会等（合同清掃），広警察署（安全パトロール），環境業務課（ゴミ収集）</p>				
苦労した点	関係団体との連絡調整				
活動状況	     				

番号	41	団体名	仁方町まちづくり推進協議会	代表者	大段忠彦
事業名	仁方地区自主防災会合同避難訓練			事業費	約70,000円
事業の目的	仁方地区の地域防災避難行動に焦点を当てた実践的な訓練を通じて、一人一人が安全・確実に避難するための避難通路、避難場所、一時避難場所などを確認しながら、防災意識の高揚を図ることを目的とし、11自治会が連携し仁方地区自主防災会合同避難訓練を実施しました。				
事業概要	<p>日時 平成29年6月3日(土) 9時30分～11時30分</p> <p>場所 仁方小学校 (命かがやく広場・体育館)</p> <p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ①各地区訓練場所の区域内に配置した消防団車両及び消防団員により「避難指示の発令」の広報を実施 ②自治会・自主防災会組織、東消防署、消防団が連携協力して、避難の呼びかけや避難誘導を行いながら、各地区指定場所に集合し、仁方小学校に避難 ③仁方小学校に到着後、東消防署の指導により各自治会単位で消火訓練を実施 ④応急救護訓練(東消防署仁方出張所) 「救急蘇生訓練」「搬送訓練」 ⑤防災講話(呉市総務部危機管理課) 「自分の命を守るため」 				
この事業を企画・実施した人	仁方町まちづくり推進協議会と同地区自主防災会が中心となり企画しました。				
苦勞した点	災害時において、どのように対応するか、各地区の実情に即した訓練内容の検討				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>消火訓練</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>防災講話</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>救急蘇生訓練</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>搬送訓練</p> </div> </div>				

番号	42	団体名	仁方町まちづくり推進協議会	代表者	大段忠彦
事業名	仁方夏まつり			事業費	約930,000円
事業の目的	仁方地区のまちづくり計画では「仁方のことをもっと知り、もっと好きになり、より良い町にするために」をスローガンに「人と人との繋がりのあるまちづくり」を目指しています。そのまちづくりの一環として仁方夏まつりを開催しました。				
事業概要	<p>日時 平成29年7月22日(土) 午後5時～午後8時</p> <p>場所 仁方中学校(グラウンド)</p> <p>内容 第1部 ①仁方中学校吹奏楽部演奏 ②よさこい踊り(仁方地区子ども会連合会) ③仁方中学校 ダンス ④ビンゴゲーム(仁方地区子ども会連合会)</p> <p>特別出演 呉氏</p> <p>第2部 ①和太鼓(仁方中学校卒業生・教職員) ②盆踊り ③お楽しみ抽選会</p> <p>屋台村 生ビール・ビール・チューハイ・ノンアルコールビール・ジュース・お茶・大和ラムネ・ポテトフライ・たこ焼き・鶏の唐揚げ・焼き鳥・炊き込みご飯・焼きそば・フランクフルト・ポップコーン・干しエビ・アイスもなか・かき氷・綿菓子・抹茶セット・グリーンティー・バザー・射的・スーパーボールすくい・おもちゃ・ヨーヨーつり</p> <p>役割分担 仁方町まちづくり推進協議会幹事等が仁方夏まつりの実行委員会の責任者になって企画及び実施した。</p>				
この事業を企画・実施した人	仁方町まちづくり推進協議会委員等による、仁方夏まつりの実行委員が中心となって、各種地域団体の協力により、イベント、屋台のブース設営等を行いました。				
苦労した点	<ul style="list-style-type: none"> ・仁方夏まつりを盛り上げていくための盆踊りの練習 ・第1部の出演団体の時間配分調整 ・会場準備及び後片付けの役割分担等の調整 				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>第1部イベント風景</p> </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  <p>第2部イベント風景</p> </div> </div>				

番号	43	団体名	仁方町まちづくり推進協議会	代表者	大段忠彦
事業名	「春が楽しみ！チューリップ」事業			事業費	約290,000円
事業の目的	チューリップを育てて、まちに彩りと潤いを与え、人と人がつながることによって、魅力ある「仁方のまちづくり」を推進するものです。				
事業概要	<p>各自治会、小・中学校、保育所、認定こども園、福祉施設等にチューリップの球根、培養土等を配付し、プランター等に植えて、人が集まり、多くの人から見える場所で育てていくものです（入学式頃に仁方町の各所で一斉にチューリップが開花する。）。</p> <p>○球根、培養土の配付：9月22日（金） 各自治会、小・中学校、保育所、認定こども園、福祉施設等に球根及び培養土を配付</p> <p>○球根の植付け時期：10月初旬～11月初旬の間にプランターや公園等に植付け 配付球根数 5,600個（赤、ピンク、黄、白の4色） *配付球根のほか昨年度育てた球根も活用しました。</p>				
この事業を企画・実施した人	仁方町まちづくり推進協議会が中心となって、農業振興センター、小・中学校、保育所、認定こども園、福祉施設等の協力により実施しました。				
苦勞した点	この事業を継続するための予算の確保（広島県みどり推進機構の助成を活用）				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>中筋自治会</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>栈橋自治会</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>西町自治会</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>大東自治会</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>仁方小学校</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>ぽこ・あ・ぽこ</p> </div> </div>				

番号	44	団体名	仁方町まちづくり推進協議会	代表者	大段忠彦
事業名	地域交流懇談会（仁方の福祉を考える会）			事業費	約8,000円
事業の目的	「仁方っていいなあ。そんなまちづくり～障がい者福祉の現状と課題～」をテーマに講演，意見交換等を通して考え，住みよい仁方のまちづくりの取組の一助とするものです。				
事業概要	<p>日時 平成30年2月4日（日）10時～11時30分</p> <p>場所 仁方まちづくりセンター3階ホール</p> <p>テーマ 仁方っていいなあ。そんなまちづくり～障がい者福祉の現状と課題～</p> <p>内容</p> <p>①開会式</p> <p>②発表 施設の事業内容，支援の取組 社会福祉法人三篠会 障害者支援施設仁方 施設長 松村 裕介さん 特定非営利活動法人ぼでーる 多機能型事業所ぼこ・あ・ぼこ 施設長 須賀 正宏さん</p> <p>③演題 「ひとまるごとだいすき」 講師 特定非営利活動法人 地域ネットくれんど 副代表，こども家族支援センター長 檜垣 欣祐さん</p> <p>④閉会式</p>				
この事業を企画・実施した人	仁方町まちづくり推進協議会役員が中心となって企画し，仁方にある福祉施設等の協力により実施しました。				
苦労した点	・発表者2名と講師の発表内容と講演内容の調整□				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>施設の事業内容，支援の取組について発表</p> </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">講演</p>				

番号	45	団体名	宮原地区まちづくり推進委員会	代表者	阪井 昌行
事業名	「宮原ホタルの里・宮原ホタルまつり」			事業費	
事業の目的	<p>地域内を流れる神原川のきれいな水を利用し、神原公園の一部と隣接する森と湿地をホタルの育成地として整備し、お年寄りから子どもまで身近なところでホタルを観賞できるようにする。</p> <p>また、この地で育ちやすいアジサイを植栽し、宮原地区の花として、アジサイいっぱいのもちにする。</p> <p>地域住民の交流を図るため宮原ホタルまつりを開催する。</p>				
事業概要	<p>平成22年に呉市の「まち普請事業」や平成24年に第一生命と都市緑化機構の「緑の環境デザイン賞」を受賞し、交付金や助成金で神原公園に隣接する湿地（約600㎡）の整備や神原公園内の小川とホタルの幼虫・メダカなど小生物のすみかとなる池の築造やあじさいの植樹を行ってきた。</p> <p>多くの町民ボランティア及び地元の小中学生の協力を得ながら、平成25年3月末に「宮原ホタルの里」は完成した。毎年、地域住民、小中学生と連携し行事や清掃等を実施している。</p> <p>平成29年度は、下記のとおり行事等を実施した。</p> <p>平成29年6月 6日 クリーン活動 6月10日 ホタルまつり 7月27日 あじさいのせん定 10月3日 清掃</p> <p>平成30年 3月 清掃（予定） *マスコット「宮原ホタルん」が誕生した。</p>				
この事業を企画・実施した人	<p>宮原地区まちづくり推進委員会が中心に実施した。</p> <p>また、整備工事に当たっては、自治会連合会、女性連合会、地元企業などの団体から協力があった。</p> <p>引き続き地元の住民や小中学生で管理運営を行う。</p>				
苦労した点	<p>毎年、場所、内容等が変わり、試行錯誤を重ねており、準備やまつりなどで予期せぬ事態が発生する。</p>				
活動状況	 <p>ホタルまつり 1</p>		 <p>ホタルまつり 2</p>		
	 <p>あじさいのせん定</p>		 <p>宮原ホタルん</p>		

番号	46	団体名	宮原地区まちづくり推進委員会	代表者	阪井 昌行
事業名	宮原地区防災訓練			事業費	
事業の目的	宮原地区の自主防災会が中心となって、「自分の命は自分で守る」をテーマとした実践的な訓練を行うことにより、防災意識の高揚を図る。 防災訓練を通じて、自助、共助のまちづくりを推進する。				
事業概要	<p>今年度は、子どもまちづくり事業（各小学校4年生が中心）と一緒に実施した。 日時：平成29年10月1日（日）9時～12時（宮原小学校区） 9時～13時30分（坪内小学校区）</p> <p>場所：宮原小学校，坪内小学校 内容： 第1部（避難訓練） ・各町（自治会単位）から危険箇所を点検しながら各小学校へ集合 第2部（各種訓練） ・初期消火訓練 ・防災に必要な知識の習得 ・避難所体験（ダンボールベッド，スリッパ，マスクなどの作成） ・流水訓練（呉市消防局，呉市西消防署南出張所）＊坪内小学校のみ ・炊き出し（炊飯袋、マジックライスを使用 宮原女性連合会） ・各町で危険箇所の洗い出し</p>				
この事業を企画・実施した人	宮原地区まちづくり推進委員会，坪内・宮原小学校（主に4年生），宮原地区自主防災会，呉市消防局，呉市西消防署，消防団大和分団，呉市				
苦労した点	宮原小学校区と坪内小学校区の事前学習の準備等に温度差がかなりあり，調整が難しかった。 防災訓練に対する住民の意識がまだまだ希薄であり，各自主防災会での訓練も必要と感じられた。				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>防災訓練（宮原小学校区）</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>防災訓練（宮原小学校区）</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>まちづくり推進委員へのプレゼン （坪内小学校）</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>防災訓練（坪内小学校区）</p> </div> </div>				

番号	47	団体名	天応まちづくり委員会	代表者	友井 輝道
事業名	鯉のぼりの吹き流し			事業費	140,000円
事業の目的	<p>鯉のぼりの吹き流しは地元ボランティアにより実施しています。竹林から竹を切り出したり、鯉のぼりを取り付けて掲げるなど、地域の方が協力して作業することで、地域交流の機会を創出しています。</p> <p>また、近年ではあまり見られなくなった鯉のぼりを掲げることにより、呉ポートピアパークに来園する多数の親子連れの語らいの場を設けるとともに日本の伝統文化に触れる機会も提供しました。</p>				
事業概要	<p>日時 平成29年4月13日（木）～5月30日（火）</p> <p>場所 呉ポートピアパーク 海沿いの遊歩道</p> <p>内容 各自治会から2～3名の参加を得て呉ポートピアパークに18本の鯉のぼりを立てる。約1か月後に各自治会の協力を得て鯉のぼりを撤去する。 （竹竿は各自治会から2～3名の参加を得て10月頃に山から切り出し、4月まで天応中学校に保管し、4月に呉ポートピアパークに移動させる。）</p> <p>※平成13年度から始まったこの事業は、毎年80匹程度の鯉のぼりを掲げており、今では呉市の春の風物詩となっています。</p>				
この事業を企画・実施した人	<p>まちづくり委員会のメンバーである各自治会から2～3名の参加を得て、竹林からの竹の切り出し、鯉のぼりの取り付け、撤去に当たりました。</p>				
苦労した点	<p>海の側に立てているため、強風に伴い海に落ちたり、破れたりするなど損傷が激しい。定期的に鯉のぼりを購入しないと事業の継続が難しくなる。（以前から不要になった鯉のぼりを募集しているが、提供者が激減している。）また、風雨のため鯉のぼりが竹竿に巻き付いたり、緩んだりすることが多々あるため、頻繁に点検する必要がある。</p>				
活動状況	 <p>今や地域の風物詩として定着しています</p>		 <p>海沿いの遊歩道に18本の竹竿を立てます</p>		
	 <p>竹竿は地域の竹林から切り出します</p>		 <p>地域の皆さんのおかげです</p>		

番号	48	団体名	天応まちづくり委員会	代表者	友井 輝道
事業名	天応町納涼盆踊り大会			事業費	350,000円
事業の目的	<p>天応町は、春は「鯉のぼりの吹き流し」や冬には「笹酒まつりともちつき大会」という代表的なイベントがあるが、夏はこれといったイベントがなかったため平成23年に地域の皆さんの熱意で復活した「天応町納涼盆踊り大会」を平成29年も呉ポートピアパークで実施しました。今回も約75発の花火を打ち上げました。天応町民やお盆に帰省された方など1,000人もの大勢の参加者で賑わい、盆踊りを通して町民同士のふれあいが深まり、地域の連帯感や絆を再確認するとともに、盆踊りを次世代に引き継いでいく文化の継承に寄与しました。</p>				
事業概要	<p>日時 平成29年8月12日（土）17時～21時 場所 呉ポートピアパーク イベント広場 内容 ・盆踊り（呉音頭・地音頭・炭坑節） ・模擬店（焼き鳥、フランクフルト、フライドポテト、枝豆、かき氷、ラムネ、ジュース、生ビール、缶ビールなど） ・花火（75発）</p>				
この事業を企画・実施した人	<p>天応町納涼盆踊り大会実行委員会が中心となって企画立案するとともに、まちづくり委員会のメンバーである自治会、女性会、体育協会や呉ポートピアパーク友の会、大浜子ども会などが協働して各ブースの設営、運営に当たりました。</p>				
苦労した点	<p>盆踊りを継続的に実施し、盛り上げていくために各自治会から実行委員を2名出してもらったり、盆踊りを次世代に継承するため、子どもに参加してもらえるよう、小学校で盆踊りの練習に取り組んでももらったりと工夫を重ねた。また、当日だけ参加した実行委員のなかには、参画意識が薄く積極的に動いてもらえない方も見受けられた。</p>				
活動状況	 <p>盆踊り</p>		 <p>盆踊りに参加する地域住民</p>		
	 <p>模擬店の様子</p>		 <p>盆踊りを彩る花火</p>		

番号	49	団体名	天応地区社会福祉協議会	代表者	友井 輝道
事業名	「笹酒まつり」と「もちつき大会」			事業費	370,000円
事業の目的	<p>笹酒まつりともちつき大会は、昭和54年から始まった天応を代表する恒例行事です。青竹に含まれているクロロフィルは、制ガン効果があるといわれており、天応町民と来場される皆さんに笹酒を飲んでもらい、この一年の無病息災を祈るとともに、新成人の成長を祝い、今後の活躍を祈念することを目的として開催しました。</p>				
事業概要	<p>日時 平成30年1月8日（祝）10時30分～正午頃 ※成人式は10時～10時30分 場所 呉ポートピアパーク イベント広場、外 内容 神事（来賓、主催者及び新成人代表者による玉串奉奠等） 式典（挨拶） ソーラン踊り 振舞酒 もちつき、ぜんざい配膳 懇親会（卒業時の恩師、来賓、地域の方々） ※お酒を青竹で温めて、晴れ着姿の新成人が来場者約1,600人に振る舞い、さらに地域の皆さんと一緒にもちつきをして、新成人の門出を祝いました。 ※笹酒を飲んで1年の無病息災を願うこのイベントは今回で40回目を数え、今や天応地区の年始の風物詩となっています。</p>				
この事業を企画・実施した人	<p>天応地区社会福祉協議会の四役会議において企画立案するとともに、天応地区の各種団体の代表者（各会場の責任者）で会議を開催し、役割分担を再確認し、神事会場、もちつき会場及び懇親会場などの設営や運営を行いました。</p>				
苦労した点	<p>苦労した点ではないが、この伝統行事を継続していくためには、竹の確保及び竹細工などの技術を若い人に受け継いでいく必要がある。（マンパワーの確保）</p>				
活動状況	 <p>山から切り出した竹を猪口等に加工</p>		 <p>ソーラン踊り</p>		
	 <p>新成人への振舞酒</p>		 <p>もちつき大会</p>		

番号	50	団体名	昭和地区ふれあいフェスティバル実行委員会	代表者	曾根誠二
事業名	第12回 昭和地区ふれあいフェスティバル			事業費	1,313千円
事業の目的	子供や家族が楽しい体験をとおして地域の方々との触れ合いを深め、昭和の輪を広げるとともに、子供の健やかな成長を願う。				
事業概要	<p>【日時】平成29年4月23日（日）9時～15時</p> <p>【場所】昭和城市センター</p> <p>【テーマ】みんなでつくり みんな楽しい 手作りイベント ～「おいしい」「たのしい」「なつかしい」がいっぱい～</p> <p>おいしい…郷土料理「八寸」、焼山うどん、綿菓子、ポン菓子、ポップコーン、から揚げ、カレーライス、餅とぜんざい</p> <p>たのしい…昭城北中学校の演奏、メープルカイザーショー、ステージ発表、福祉施設作品展示と販売、写生大会、もちつき体験、放水体験、わなげ、スタンプラリー など</p> <p>なつかしい…昭和の駄菓子屋、ヨーヨー釣り、折紙・あやとり・おはじき、プラトンボづくり、紙芝居、琴・尺八・フラダンス体験、親子で藤井清水を歌い昔の遊びを楽しもう など</p> <p>延べ参加人数 約12,000人</p>				
この事業を企画・実施した人	まちづくり協議会をはじめとする地域の諸団体から推薦された人で「ふれあいフェスティバル実行委員会」を結成し、企画段階からイベント実施までを行った。				
苦勞した点	当日は駐車場がないことから焼山公園と昭和城市センター間のシャトルバスを15分間隔で運行し、近隣への迷惑が減少した。				
活動状況	 <p>晴天に恵まれました。</p>		 <p>昭城北中の演奏。</p>		
	 <p>沢山の来場者。</p>		 <p>ちびっこ消防士。</p>		

番号	51	団体名	きよみん夏祭り実行委員会	代表者	竹平玉雄
事業名	第1回きよみん夏祭り			事業費	1,463千円
事業の目的	イベントを通じて、昭和地区すべての住民が「しあわせ」で「より豊かに生きる」ことのできるまちづくりを推進するため、すべての住民が主体となって、共に生き、共に老い、共に支え合う仕組みづくりを構築することを目的に開催。				
事業概要	<p>【日時】平成29年7月30日（日）9時～21時</p> <p>【場所】昭和城市センターほか</p> <ul style="list-style-type: none"> ●第Ⅰ部「きよみんデビュー」～まちづくり協議会をより身近な地域団体とするため、昭和高校に協力いただき、地区のスーパーに、まちづくりキャラクター「きよみん」の着ぐるみを登場させた。 ●第Ⅱ部「福祉フェスタ」～「ゆりかごから墓場まで」をコンセプトに、地元の高齢者福祉施設などの情報提供や、病院、大学の協力による講演会・簡易健康診断、障害者福祉事業所の自主品の販売、乳幼児の体操教室などを開催。 ●第Ⅲ部「盆踊り」～住民が一つの輪になり、地域の伝統的な踊り「じゃんじゃん踊り」を踊るとともに、地域団体等による模擬展などを楽しんだ。 				
この事業を企画・実施した人	自治会、PTAなどを中心に、昭和高校、広島文化学園大学、地域の福祉施設などに声をかけ、企画段階からイベント実施までを行った。				
苦勞した点	第Ⅱ部で、福祉はもっとも身近なテーマであるにも関わらず、過去の講演会等イベントでも参加者が伸び悩んでいることから、フリーマーケットを併催、にぎわいの創出に取り組んだ。 第Ⅲ部は、準備期間も短かったことから、スタッフが集まらず、高校生や市民センター周辺自治会、舞踊サークルのメンバーなどに声をかけ、協力いただいた。				
活動状況	 <p>きよみん着ぐるみデビュー。</p>		 <p>高齢者向け</p>		
	 <p>親子向け</p>		 <p>皆で「じゃんじゃん踊り」</p>		

番号	52	団体名	昭和ふれあい移動動物園実行委員会	代表者	西本壽雄
事業名	第2回昭和ふれあい移動動物園			事業費	395千円
事業の目的	「ふれあい」をテーマとしたイベントを開催。動物とのふれあいを通して、子どもたちの情操を育むとともに、子どもから高齢者まで、地域住民が家庭、地域でコミュニケーションをはかることを目的に実施した。				
事業概要	<p>【日時】平成29年9月3日（日）10時～15時</p> <p>【場所】昭和市场センター駐車場</p> <p>大山トムソーヤ牧場から動物を借り、ポニーをはじめとする動物達との触れ合い体験を実施。</p> <p>実行委員会は会場の整備・整理のほか、子どもから高齢者まで、皆が楽しめるイベントにするため、飲食ができるスペースなどを設けた。</p>				
この事業を企画・実施した人	<p>昭和ふれあい移動動物園実行委員会（第19区・第21区民生児童委員協議会，昭和東女性会，昭和地区まちづくり協議会）</p> <p>【協力】昭和地区自治会連合会</p>				
苦労した点	<p>炎天下の開催であったにも関わらず、子どもを中心に多くの参加者があり、休憩をとるものの、ポニーたちは若干疲れ気味の様子だった。今後は、イベントの内容，開催時期を再検討する必要がある。</p>				
活動状況	 <p>ヤギさんと一緒。</p>		 <p>モルモット。</p>		
	 <p>うさぎ、おめめが赤いね。</p>		 <p>黒ラブ、そっと触ったよ。</p>		

番号	53	団体名	昭和西女性会	代表者	奥先 楓
事業名	第11回クリスマスコンサート			事業費	300千円
事業の目的	地域にいながらにして、子どもからお年寄りまで、芸術・文化にふれ合える機会を提供するとともに、イベントを通して、企画力を養い地域においての女性の地位向上を図ることを目的に実施。				
事業概要	<p>二胡アンサンブルコンサート 【日時】平成29年12月2日(土) 13時30分～ 【場所】昭和市场センター 【出演】ジャン ショウイェン(日本二胡学会理事) 二胡音楽院演奏者 22人 ※女性会は、会場の整備・整理を実施。参加者 約500人</p>				
この事業を企画・実施した人	昭和西女性会・昭和地区まちづくり協議会				
苦労した点	昭和地区で本格的なコンサートが楽しめるとあって、年々、参加者が増加しており、ホール内に人が入りきらない事態も発生している。また、参加者による周辺店舗への迷惑駐車も含め、今後、検討する必要がある。				
活動状況	   				

番号	54	団体名	成人の日記念式典実行委員会	代表者	神田 晃典
事業名	平成29年昭和地区「成人の日」記念式典・記念行事			事業費	700千円
事業の目的	地域をあげ、地区在住の新成人を祝福・激励するための式典・行事を開催。				
事業概要	<p>【日時】平成30年1月8日（祝）13時30分～15時</p> <p>【場所】昭和城市センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・司会進行（呉昭和高校の生徒） ・国歌・呉市歌斉唱（呉市藤井清水の会） ・音楽の贈り物（昭和中学校吹奏楽部） ・郷土料理「八寸」試食会（昭和西女性会） ・ぜんざいのおもてなし（昭和東女性会） ・アンケートの実施（第19・21区民児協） <p>新成人出席者 277人（対象の91%）</p>				
この事業を企画・実施した人	<p>【主催】昭和地区自治会連合会と昭和地区まちづくり協議会，呉市，呉市教育委員会</p> <p>【協力】昭和西女性会，昭和東女性会，第19区・21区民生委員児童委員協議会，呉市藤井清水の会，呉市消防団昭和分団，昭和中学校吹奏楽部，呉昭和高校</p> <p>【協賛】（株）ますやみそ，（株）白王，（株）広島中央ヤクルト販売，（社）きぼう，居食屋 わだち</p>				
苦労した点	<p>地域，企業，行政の3者が協働し成人式を開催。 記念品は地元企業にも協力いただき，地域色の強い成人式となっている。 しかしながら，毎年，記念品の選定には苦慮している。</p>				
活動状況	   				

番号	55	団体名	郷原町まちづくり推進委員会	代表者	山本 英則
事業名	郷原町盆踊り大会			事業費	500,000円
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> 地域の伝統文化行事を継承することで、地域住民の世代を超えた絆を深め、豊かな心を育むとともに、伝統文化の継承者の育成を図り、企画を通して地域の人材を発掘していく。 				
事業概要	<p>日時 平成29年8月13日(日) 18時30分～20時30分 (※準備は当日8時～, 後片付け翌日8時～)</p> <p>場所 郷原小学校グラウンド</p> <p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 盆踊り(炭坑節・にがた・なかはた・郷原音頭・ふるさと郷原音頭) 模擬店運営 やきそば, カレーライス, ポテト・唐揚げ・コロッケ, 綿菓子, 細昆布, ゼリー, かき氷, あみだくじ, 金魚すくい, ボールすくい お楽しみ抽選会(うちわ1,000枚に抽選番号を貼付) 花火大会と和太鼓の演奏 カラオケ大会(演歌歌手出演) 				
この事業を企画・実施した人	郷原町盆踊り大会実行委員会 (「郷原町を考える会」を中心にまちづくり推進委員で組織)				
苦労した点	大会の準備から運営の進行管理ができる地域リーダーの養成。				
活動状況	   				

番号	56	団体名	郷原町まちづくり推進委員会	代表者	山本 英則
事業名	ふれあい・いきいきサロン			事業費	64,000円
事業の目的	<p>・高齢者が家庭や地域の中で孤立しないように、地域の人たちが定期的にまちづくりセンターに集うことで、高齢者が健康でいきいきとした生活が送れるよう地域全体で見守りを支援するとともに、高齢者の介護予防につなげていく。</p>				
事業概要	<p>70歳以上の高齢者を対象に月に1回開催。 時間 10時～14時 内容 午前中は、サロンの歌、今月の歌、お誕生会、健康体操、月ごとの催し（講演会、吹奏楽等）、各種趣味講座等を実施。 昼食をはさんで午後からも月ごとの催し（講演、歌ダンス等）を楽しむ。 特徴 地元の小・中学校や保育所と連携し、世代間交流を定期的を実施。 医療機関や警察・交通安全協会、消防署等の協力により講演会や生活安全指導を実施 参加者は毎月約120名で、中学校全校生徒や、保育所園児の参加する月には500名近くなり、呉で1番大きなサロンである。</p>				
この事業を企画・実施した人	<p>サロン運営委員会（地元自治連、民児協、女性会、運動推進の運営委員と各自治会から推薦された協力員の代表で組織）</p>				
苦労した点	<p>高齢者のサロン参加（外出支援）を地域全体に広げるため、各自治会組織の協力員の組織化と、高齢化してきた協力員の次の世代を担う人材の育成。</p>				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">    </div> <p style="text-align: center;">保育園児との交流（笑顔が素敵です）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 20px;">   </div> <p style="text-align: center;">今年度初の試み、「笑いヨガ」</p> <p style="text-align: center;">カラオケ教室も盛況です</p>				

番号	57	団体名	下蒲刈町まちづくり協議会	代表者	渡辺 哲宏
事業名	まる梶カーニバル2017			事業費	約395,000円
事業の目的	<p>「梶ヶ浜」には海水浴場、キャンプ場、コテージなど下蒲刈町の主要施設があり、夏期に海水浴客で賑わいを見せているが、冬期から春期は閑散とした状態になっている。梶ヶ浜の魅力向上や利用促進を目的に、地域内外の人材や自然環境・既存施設を利用した「まる梶カーニバル2017」を実施した。</p>				
事業概要	<p>平成29年3月から11月にかけて、広島県内の里山（中山間地域）で開催されるイベント『ひろしま さとやま未来博2017』における【ココロザシ応援プロジェクト】の採択を受け「まる梶カーニバル2017」を実施。ビーチヨガ・ロミロミ・カヤックの体験、貝殻ワークショップ、夏野菜の苗植え、ひまわりの種まきなどのほか、地域の食材を使用した「食」の販売を行った。</p> <p>平成29年4月8日（土）と9日（日）の開催を予定していたが、降雨により8日（土）は中止となり、9日（日）だけの開催となったが、約800名の入場者で海水浴シーズン以外は閑散とする「梶ヶ浜」が大変賑わった。</p>				
この事業を企画・実施した人	地域おこし協力隊員が発案し、まちづくり協議会が実施した。				
苦労した点	<p>野外イベントのため降雨による中止の判断が難しく、また、イベント中止により使用できなかった「キャンドル」の活用に苦労した。</p> <p>なお、7月29日（土）に「まる梶キャンドルナイトと夏野菜収穫体験」を実施し、「キャンドル演出」、「キャンドルビーチヨガ」などのイベントで、再度、梶ヶ浜に賑わいをもたらすことが出来た。（キャンドル演出入場者約50人）</p>				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>ビーチヨガ（梶ヶ浜ビーチ）</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>カヤック体験（梶ヶ浜ビーチ）</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>ロミロミ（梶ヶ浜ボードウォーク）</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>夏野菜の苗植え（下蒲刈町池之浦）</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>貝殻ワークショップ （梶ヶ浜ボードウォーク）</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>ひまわりの種まき （梶ヶ浜グラウンド）</p> </div> </div>				

番号	58	団体名	川尻町まちづくり委員会	代表者	隠村誠二
事業名	いいところいっぱいじゃけえ かわじりMAPウォーク			事業費	13,000円
事業の目的	平成25年度に『“かわじり”の新しいマップを作ろう!!プロジェクト』で作成した『いいところいっぱいじゃけえ かわじりMAP』のコースを歩く事によって、人と人がふれあう元気なまちづくりを目指す。(年2回程度)				
事業概要	<p>【平成29年度】</p> <p>6月11日(日) 合格祈願ロードコースを歩こう 【参加者・・・81名】</p> <p>10月8日(日) 縁結びめぐりストーリーコースを歩こう 【参加者・・・57名】</p>				
この事業を企画・実施した人	呉市川尻町まちづくり委員会, 川尻地区自治会連合会, 川尻町運動普及推進員会, 川尻保健出張所, 川尻中学校				
苦労した点	関係団体との連絡調整				
活動状況	    				

番号	59	団体名	川尻町新成人を祝う会実行委員会	代表者	原田邦子																																			
事業名	川尻町新成人を祝う会			事業費	約265,000円																																			
事業の目的	<p>新成人が企画・運営を担い始めて8年目となる「実行委員会」の活動は、「地域全体で祝う」新成人を祝う会の開催に向けて、中学生から地域の方々まで世代を超えて開催を支えている。</p> <p>【実行委員会の主な活動内容】 ①懇親会の企画立案 ②当日運営（新成人受付・式典司会・懇親会の司会運営）</p>																																							
事業概要	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">【実行委員会】</td> <td colspan="2">【当日】</td> </tr> <tr> <td colspan="2">平成29年8月から活動開始</td> <td>日時</td> <td>平成30年1月7日(日)10:00～13:00</td> </tr> <tr> <td>①8/29(火)</td> <td>顔合わせ・昨年の様子・企画アイデア</td> <td></td> <td>打合せ・準備・リハ9:30～ 後片付け～14:00</td> </tr> <tr> <td>②11/29(水)</td> <td>企画絞り込み・役割分担</td> <td>場所</td> <td>呉市川尻まちづくりセンター</td> </tr> <tr> <td></td> <td>対象者確認</td> <td rowspan="2">内容</td> <td>受付(新成人受付・来賓受付)</td> </tr> <tr> <td>12/25(月)</td> <td>中学生ボランティアへ説明</td> <td>記念撮影(平台片付け・式典準備)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>準備</td> <td></td> <td>式典(司会・はたちの誓い)</td> </tr> <tr> <td>1/5(金)</td> <td>式典リハーサル</td> <td></td> <td>懇親会(司会・運営)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>抽選会・恩師エピソード披露</td> </tr> </table> <p>※太字は実行委員会・中学生ボランティア担当</p>					【実行委員会】		【当日】		平成29年8月から活動開始		日時	平成30年1月7日(日)10:00～13:00	①8/29(火)	顔合わせ・昨年の様子・企画アイデア		打合せ・準備・リハ9:30～ 後片付け～14:00	②11/29(水)	企画絞り込み・役割分担	場所	呉市川尻まちづくりセンター		対象者確認	内容	受付(新成人受付・来賓受付)	12/25(月)	中学生ボランティアへ説明	記念撮影(平台片付け・式典準備)		準備		式典(司会・はたちの誓い)	1/5(金)	式典リハーサル		懇親会(司会・運営)				抽選会・恩師エピソード披露
【実行委員会】		【当日】																																						
平成29年8月から活動開始		日時	平成30年1月7日(日)10:00～13:00																																					
①8/29(火)	顔合わせ・昨年の様子・企画アイデア		打合せ・準備・リハ9:30～ 後片付け～14:00																																					
②11/29(水)	企画絞り込み・役割分担	場所	呉市川尻まちづくりセンター																																					
	対象者確認	内容	受付(新成人受付・来賓受付)																																					
12/25(月)	中学生ボランティアへ説明		記念撮影(平台片付け・式典準備)																																					
	準備		式典(司会・はたちの誓い)																																					
1/5(金)	式典リハーサル		懇親会(司会・運営)																																					
			抽選会・恩師エピソード披露																																					
この事業を企画・実施した人	<p>実行委員会（成人者9人・次年度成人者2人・保護者7人・地区社協（主催者）1人・川尻市民センター（サポート役）2人）・川尻町女性会・警察・川尻中学校・川尻町地区社会福祉協議会</p>																																							
苦労した点	<p>①実行委員の募集・・・地区広報誌「川尻かがやき」やホームページにて実行委員の募集を行っている。同時に声掛けをした当時の中学校生徒会役員が中心となり活動している状況。平成25年度から導入した中学生ボランティアの取組が、将来につながることを期待している。</p> <p>②次年度成人者の参加・・・次年度・当該年度・前年度の3学年の成人世代が関わることを目標として活動している。今年度も、会議や当日運営に次年度成人者2人が加わり、受付や式典準備などの裏方に携わったことで、来年度の実行委員会活動のきっかけをつくることのできた。</p> <p>③中学生ボランティア・・・中学2年生の生徒会・ボランティア5名が参加。裏方として来賓受付や式典準備、片付けなど積極的に活動した。</p>																																							
活動状況	   																																							

番号	60	団体名	川尻町地区社会福祉協議会	代表者	隠村誠二
事業名	川尻町敬老会			事業費	1,188,000円
事業の目的	<p>各種団体との協働の幅を少しずつ増やしながら、敬老者に喜んでいただける敬老会を開催できるよう活動している。</p> <p>【H20年度～】敬老会打合せ開催・リハーサル協力依頼（主催者のみ）</p> <p>【H21年度～】敬老会打合せ開催・リハーサル協力依頼（運営協力団体・主催者）</p> <p>なお、当初から司会、交通整理や運営協力（主催者含む）との協働も継続中。</p>				
事業概要	<p>【敬老会打合せ】平成29年8月23日（水）18時～19時 各協力団体の役割分担の確認と当日の流れを確認。</p> <p>【リハーサル・準備】平成29年9月13日（水）・15日（金） リハーサルでは、司会を担当する朗読ボランティア ハートフルが、アトラクション出演者と打合せをしながら、直前までシナリオを練ったり、裏方を担当する主催者は舞台転換の確認を行い、本番に備えた。</p> <p>【敬老会当日】平成29年9月18日（月・祝）9時～12時 （敬老者：1,471人）</p> <p>場 所 呉市川尻まちづくりセンター（ベイノロホール）</p> <p>内 容 【第1部】式典（司会：朗読ボランティア ハートフル） 【第2部】アトラクション（司会：朗読ボランティア ハートフル） ①合唱（川尻光幼稚園） ②太鼓演奏（川尻保育所） ③合唱（川尻小学校4年生）④神楽（伊賀和志神楽団「八幡（はちまん）」）</p>				
この事業を企画・実施した人	<p>川尻町地区社会福祉協議会</p> <p>【協力団体】ボランティアさざなみ、呉市第23区民生委員児童委員協議会、広交通安全協会川尻支部、同母の会、川尻地区老人クラブ連合会</p> <p>【アトラクション】川尻光幼稚園、川尻保育所、川尻小学校、伊賀和志神楽団</p> <p>【司会】朗読ボランティア ハートフル</p>				
苦勞した点	<p>敬老者に喜んでいただくために、記念品やアトラクションの内容について正副会長会議でアイデアを持ち寄り、協議した。</p> <p>平成20年度から取り入れた「打合せ」や「リハーサルからの協力依頼」は継続していることで、定着しつつある。</p>				
活動状況	    				

番号	61	団体名	川尻町元気まつり実行委員会	代表者	森川 泰博
事業名	かわじり元気まつり			事業費	2,391,000円
事業の目的	<p>2000年に安芸灘大橋有料道路が開通したことをきっかけに、川尻町内外に「かわじり」をアピールして、川尻町の魅力をさらに向上させたり、活性化につなげるために始まった元気まつりは、毎年11月の第3日曜日に開催し、毎年約5,000人で賑わう。</p> <p>開催までに、実行委員会（2回）や企画部会（7回）、バザー部会を重ね、各種団体をはじめ多くの関係者が一丸となって準備を行う。中学生も前日の準備や当日運営にボランティアとして加わり、共に、まつりを支えている。</p>				
事業概要	<p>「みんなが集い みんなで創り みんなが楽しむ！」 日時 平成29年11月19日（日）9時～15時30分 場所 川尻グラウンド 【オープニング】 野呂岩海太鼓（野呂岩海太鼓保存会） 【メインステージ】 筆のパフォーマンス（広高校書道部）・ひびけ！野呂太鼓（川尻小学校6年生）・元気いっぱいズンドコパワー（川尻保育所）・なりひびけみんなの鳴子（川尻光幼稚園）・川尻優秀農産物発表・かわちゅうプラス（川尻中学校吹奏楽部）・ラムネ早飲み大会・大澤 誉志幸スペシャルライブ・かわじりモノ尻〇×クイズ・ラッキーナンバーゲーム他 【わくわくイベント】 ミニSL・ふわふわパンダ他 【食の元気市】 焼きいりこやイノシシの串焼きなど広域8町の特産品を楽しむ</p>				
この事業を企画・実施した人	川尻町元気まつり実行委員会・川尻町まちづくり委員会・協賛企業				
苦労した点	毎年、マンネリ化しないよう新企画を何にするか、それに伴う財源確保。				
活動状況	    				

番号	62	団体名	音戸町まちづくり協議会	代表者	新谷 勝利
事業名	2017おんどフェスティバル			事業費	2,975,000円
事業の目的	<p>自然に親しみながら，研修，体力づくり等を行うとともに町民相互のふれあいの場，文化，体育活動の中心として，幅広く活用する目的で“マリンふれあいの里大浦崎公園”（現在の名称は大浦崎スポーツセンター）が昭和60年度に完成しました。</p> <p>この公園の完成を契機として，上記に掲げる当該公園の整備目的を達成するために当事業が開催されることとなり，今年度で32回目を数えております。</p>				
事業概要	<p>毎年，町内外から5,000人を超える来場者があり音戸町で一番大きなイベントです！</p> <p>日時：平成29年11月19日（日） 9時30分～15時 場所：大浦崎スポーツセンター 内容：○ステージ企画 音戸清盛太鼓，高校生ダンスコンテスト，元カーブ選手トークショー，防犯大声絶叫大会，○×クイズ大会，吹奏楽の演奏，お楽しみ抽選会，餅まき等 ○会場企画 21店舗による飲食物等の出店，消防車両展示・救助体験コーナー，白バイ等体験搭乗，音戸高校カヌー部によるカヌー体験教室 ふわふわドーム，チャレンジストラックアウト，ウォーキング大会 ○少年ソフトボール大会</p>				
この事業を企画・実施した人	<p>まちづくり協議会の役員及び事務局が中心となって企画立案し，自治会，女性会，老人クラブ，民生児童委員，PTA，商工会等，各種団体（まちづくり協議会の構成員）の協力により，準備から運営，片付けまでを行い，地域協働で実施しています。</p> <p>また，音戸高校ボランティアの協力も，会場内の清掃，出演，出店と大きな役割を担っています。</p>				
苦勞した点	<p>・より多くの人に参加でき楽しんでもらうための企画，催し物の考案</p>				
活動状況					

番号	63	団体名	音戸町まちづくり協議会	代表者	新谷 勝利
事業名	トワイライトふれあいフェスタ			事業費	952,000円
事業の目的	<p>人口減少、特に少子高齢化の進展及び多岐にわたるレジャー施設等の進出により、音戸町において、子供と大人が楽しくふれあうことができる交流の場が減少しております。</p> <p>また、地域の核となる音戸市民センターは、新旧音戸大橋を背後に音戸の瀬戸を一望できる絶好のロケーションと広い前庭、ウッドデッキテラスを有する独特の建築構造となっております。</p> <p>このような負と正の現状を踏まえ、地域の皆さんとの協働により、交流と賑わいの場を創造する目的で、毎年1回、1,000人以上の来場者により実施しております。</p>				
事業概要	<p>海辺の潮風を受けながら、ビアガーデン風の出店、ステージでの催し物があります！</p> <p>日時：平成29年7月29日（土） 17時30分～20時</p> <p>場所：音戸市民センター（前庭・2階テラス）</p> <p>内容：○ステージ企画（簡易ステージ製作） 音戸清盛太鼓、キッズダンス、合唱、フラダンス、カラオケ大会</p> <p>○出店 生ビール、缶酎ハイ、お酒、清涼飲料水、お茶 フライドポテト、鶏の唐揚げ、タコ天、豚カツ、焼き肉、焼き鳥、 焼きそば、焼きイカ、巻き寿司、炊き込みご飯、フランクフルト、 綿菓子、ポップコーン、かき氷、スーパーボールすくい、ヨーヨー釣り</p>				
この事業を企画・実施した人	<p>まちづくり協議会の役員及び事務局が中心となって企画立案し、自治会、女性会、老人クラブ、民生児童委員、PTA、商工会等、各種団体（まちづくり協議会の構成員）の協力により、準備から運営、片付けまでを行い、地域協働で実施しています。</p>				
苦労した点	<p>より多くの人に参加でき楽しんでもらうための企画、催し物の考案（新鮮なアイデア）</p>				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: right;">ステージ企画</p>  <p style="text-align: center;">全体の様子</p>				

番号	64	団体名	宝島くらはしまちづくり協議会 お宝婚活部会	代表者	松村 慶介
事業名	第6回島コンin倉橋（広島県最南端で見つける恋）			事業費	340,000円
事業の目的	人口減少や少子高齢化の一因とされる未婚者の増加に歯止めをかけるために、地元の未婚男女に出会いの場を創出する。				
事業概要	<p>○日時：平成29年9月30日（土）15時～19時</p> <p>○場所：江田島オリーブファクトリー</p> <p>○募集対象：20歳から45歳までの独身（学生は除く） 男性は倉橋町又は江田島市在住か出身者、勤務者、女性はフリー</p> <p>○参加者負担金：男性5,000円、女性2,000円</p> <p>○内容：男性25名・女性22名、計47名がゲーム、クイズ、フリータイムを通じて交流し、7組のカップルが誕生した。</p> <p>○参加者居住地内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男性 倉橋町3名、江田島市11名、倉橋出身・勤務者5名、江田島出身・勤務者6名 ・女性 江田島市5名、呉市（倉橋町除く）8名、広島市6名、東広島市2名、府中町1名 <p>○参加者年代内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男性 20代13名、30代5名、40代7名 ・女性 20代9名、30代11名、40代2名 <p>◎通算2組の結婚成就者を誕生させることができた。</p>				
この事業を企画・実施した人	地元で農業・漁業・医療関係等に就業する若者が中心となって設立したお宝婚活部会と江田島市出会い支援イベント企画運営委員会委員が合同で企画・立案し、まちづくりサポーター、まち協委員、市職員が協働して開催した。				
苦勞した点	告白タイムの方法、女性の募集方法等				
活動状況	 <p>受付</p>		 <p>グループになってゲーム</p>		
	 <p>クイズに挑戦</p>		 <p>フリータイム</p>		

番号	65	団体名	宝島くらはしまちづくり協議会 お宝朝市部会	代表者	木戸 慶治
事業名	くらはし お宝朝市			事業費	70,000円
事業の目的	新鮮で良質な農水産物をはじめとする倉橋町の特産品を販売することで、地元の農業・漁業・商業の振興とともに倉橋町の活性化を図る。				
事業概要	<p>○日時：毎月最終日曜日 8時～11時</p> <p>○場所：倉橋桂浜温泉館 万葉の里</p> <p>○内容：地元特産品の販売及びお楽しみイベント (野菜・お宝とまと・石地みかん・鮮魚・ちりめん・牡蠣・豆腐・お花・無添加パン等)</p> <p>お楽しみイベント：毎月 お買い物スタンプラリー</p> <p>7月 スイカの種とばし大会</p> <p>10月～3月 焼き芋</p> <p>11月 オープン8周年記念市 (みかんの無料配布・みかん積み上げ大会)</p> <p>12月 紅白餅の無料配布</p>				
この事業を企画・実施した人	倉橋産直部会，倉橋島漁業協同組合，倉橋西部漁業協同組合，呉広域商工会女性部などに加盟している団体と地元の特産品販売店が中心となって企画し，市職員，市職員OBなどが協働実施しています。				
苦労した点	雨天時の対応や広報の方法，出店者やボランティアスタッフの確保等				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>地元産の新鮮な野菜</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>スイカの種とばし大会</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>みかん積み上げ大会</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>8周年記念市</p> </div> </div>				

番号	66	団体名	宝島くらはしまちづくり協議会	代表者	中田 正志
事業名	こどもチャレンジ教室			事業費	150,000円
事業の目的	倉橋地区の子供たち（小中学生）の心身の発達のため、文化・スポーツの分野において体験教室を開催し、その技術を磨き、レベルアップを図る。				
事業概要	<p>スケート教室と施設見学</p> <p>○日 時 平成29年12月16日（土）9時～16時</p> <p>○場 所 ひろしんビッグウェーブ及びマリホ水族館見学</p> <p>○参加者 明德小11名・倉橋小9名 計20名</p> <p>○その他 広島県スケート連盟から講師を派遣していただき指導を受け、全員が滑れるようになった。</p>				
この事業を企画・実施した人	宝島くらはしまちづくり協議会，明德小学校，倉橋小学校				
苦勞した点	文化・スポーツ等分野（種目）の決定と募集方法				
活動状況	 <p>スケート教室の様子</p>				

番号	67	団体名	蒲刈町まちづくり協議会	代表者	谷村 淨
事業名	第17回 かまがり恵みフェア			事業費	1,032,862円
事業の目的	蒲刈町の観光資源を広く紹介し観光客の誘致に努め、観光事業、各種産業の発展に寄与することを目的とする。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ B & G海洋センター横の広場において町内外から特産品などの販売するブースを開設した。出店件数は18店舗。「潮騒の館」「恵みの館」「輝きの館」の3館を廻りスタンプを集めメイン会場の県民の浜の抽選会場で抽選を行うと豪華賞品が当たるスタンプラリーを開催した。 ・ イベントコーナーにおいては、蒲刈こども神楽、和ロック、舞踊、ピエロの愉快的なバルーンショーなどを披露した。また昔の遊びコーナーにおいてコマ回し、凧揚げを実施した。 ・ B & G海洋センターにおいて蒲刈地区社会福祉協議会主催による健康福祉祭りも同時開催した。 				
この事業を企画・実施した人	蒲刈町まちづくり協議会のメンバー				
苦労した点					
活動状況	 <p>和ロック</p>		 <p>コマ回し</p>		
	 <p>スタンプラリー抽選会</p>		 <p>会場の様子</p>		

番号	68	団体名	安浦町まちづくり協議会	代表者	田中 敏弘
事業名	「地域おこし協力隊員へのメッセージ」PV作成事業			事業費	
事業の目的	平成30年度に「地域おこし協力隊」を受け入れるにあたり、安浦町を知ってもらうために公募用のプロモーションビデオ（PV）を作成した。作品は風景のみならず在住の住民のメッセージで構成した。				
事業概要	安浦生まれの漁業従事青年、女性自治会長、仕事を持ち子育てをしている女性、商工会青年部員や移住してきた美術館学芸員、音楽家、陶芸家及びリピーターも多く長年公演を続けている安浦ミュージカルの中学生・大学生たちに「安浦の魅力」、「隊員とやってみたいこと」、「安浦にはどんな人がいるか」「どんな隊員に来てほしい」など同じ質問に答えることでメッセージを伝えた。				
この事業を企画・実施した人	安浦まちづくり協議会及び町内協力依頼者				
苦労した点	安浦まちづくり協議会にはプロモーションビデオを作成した経験のある者がいなかったため、企画。構成する知識・技術力不足の状態での作業であり「やってみないとわからない」という状況であった。 また、仕事をもっているスタッフと出演者との日程・時間・場所など調整に苦労した。				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;"> <p>カキ養殖業の山根さん</p>  <p>Q: 安浦町の魅力は?</p> </div> <div style="width: 50%;"> <p>自治会長 国定さん</p>  <p>Q: 安浦町にはどんな人がいますか?</p> </div> <div style="width: 50%;"> <p>仕事を持ち主婦である友達</p>  <p>安浦町 地域おこし協力隊募集 PR動画</p> <p>口 幸子さん 大本 紀子さん 上迫 千華さん 梶原 愛美さん</p> </div> <div style="width: 50%;"> <p>フルーティストの宮原さん</p>  <p>呉市安浦町 地域おこし協力隊募集 PR動画</p> <p>その他の動画</p> <p>Q: どんな人に来てもらいたいですか?</p> </div> <div style="width: 50%;"> <p>陶芸家の丸本さん（移住・起業）</p>  <p>Q: 安浦町はどんな人?</p> </div> <div style="width: 50%;"> <p>安浦ミュージカルの皆さん</p>  </div> </div>				

番号	69	団体名	安浦町まちづくり協議会	代表者	田中 敏弘
事業名	安浦町 子どもまちづくり事業			事業費	200,000円
事業の目的	<p>子どもたちが安浦町の自然や特産物について地域の大人と一緒に学び、調べた安浦町の魅力を祭りの来場者に伝える。その活動を通して、子どもたち自身の地域への愛着と郷土愛を育む。</p> <p>また、地域の大人との協力作業を通して行事の準備の大切さや、やりとげたことの達成感や喜びを感じることで、まちづくりに携わることの魅力を知ってもらう機会の一つとし、まちづくり活性化の担い手育成につなげる。</p>				
事業概要	<p>11月19日に開催された「安浦新ええとこ祭り」で安浦小学校6年生と安登小学校5年生がそれぞれ子どもまちづくり事業を実施した。</p> <p>安浦小学校は「安浦のええとこ紹介」を目的に安浦の自然や歴史など7項目に絞り、地元自慢のカキとアマモをモチーフにした手作りのキャラクター「カキアマ王子」も加わりステージでのプレゼン、クイズスタンプラリーも行った。</p> <p>安登小学校は「安浦のカキPR大作戦！」とミッションを設定しカキに関する資料やプレゼンを展示コーナーやステージで行った。スクールキャラとして作った「アトラ君」もステージでの創作劇に参加するなど活躍をした。両校とも会場を盛り上げ、安浦の魅力を元気よくPRしていた。</p> <p>また、両小学のキャラクターと小学生は2月に行われた「安浦カキ祭り」へPRや手伝いのため参加した。</p>				
この事業を企画・実施した人	呉市立安浦小学校6年生、安登小学校5年生、安浦漁業協同組合青年部「若海部会」、地区自治会、まちづくりサポーター、文化団体連合会				
苦労した点	・子どもと大人の共同作業、協議の時間調整と頻度				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>クイズスタンプラリー (安浦小)</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>カキアマ王子も参加したプレゼン (安浦小)</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>ステージでのプレゼン (安登小)</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>展示コーナーでのプレゼン (安登小)</p> </div> </div>				

番号	70	団体名	豊浜町まちづくり協議会	代表者	伊藤 圭一	
事業名	ビューティフルアイランド祭り			事業費	1,602,577円 (平成28年度実績)	
事業の目的	<p>だれもが健康でいきいきと暮らすことのできる健康づくりや世代間交流を目的として、子供から高齢者まで気軽に参加できる「ウォーキング大会」を中心に開催します。町外の方にも広く参加を呼びかけ、祭りに参加していただくことで豊浜町の良さ（島の香り・味・自然）のPRを行うことを目的とします。</p>					
事業概要	<p>子供から高齢者までが気楽に参加できる「ウォーキング大会」や「体力測定」のほか、各種団体の模擬店や特産品の販売、防災・防犯コーナーなどを設け行いました。また、特設ステージ等では文化団体の成果発表や音楽グループ等の演奏が行われました。各種団体の協力のもと、6つの柱を組み合わせ笑顔あふれるイベントを実施しました。</p> <p>【日時・場所】平成28年10月15日（土） 親水公園 【参加者人数】○体力づくり（ウォーキング大会）134名 ○生活環境づくり（プランターコンテスト）16名 ○安全・安心づくり（防犯・防災コーナー）3団体 ○健康づくり（体力測定・健康チェック）106名 ○人づくり（イベント交流・露店）20団体 ○文化活動づくり（作品の展示）6団体</p>					
この事業を企画・実施した人	豊浜町まちづくり協議会					
苦労した点	準備、片付けにたくさんの協力者が必要です。天候次第では用意した材料などが無駄になります。					
活動状況	<p>体力づくり (ウォーキング大会)</p> 	<p>生活環境づくり (プランターコンテスト)</p> 	<p>安全・安心づくり (防犯・防災コーナー)</p> 	<p>健康づくり (体力測定・健康チェック)</p> 	<p>人づくり (イベント交流・露店)</p> 	<p>文化活動づくり (作品の展示)</p> 

番号	71	団体名	豊浜町まちづくり協議会	代表者	伊藤 圭一
事業名	島めぐり事業（斎で島コン）			事業費	64,233円 (平成28年度実績)
事業の目的	<p>地元の男性が瀬戸内の島の魅力（自然環境、料理等）を通じて、都会の女性をもてなして、島の魅力を再発見します。 また、女性との出会いが少ない島の男性に出会いの機会を提供し、カップル誕生を目指します。</p>				
事業概要	<p>【日時】平成28年8月20日（土） 地元の独身男性が豊浜町斎島で豊浜の魅力を紹介しながら都会の女性をもてなす婚活イベントを開催しました。 参加者は地元男性9名、女性9名の18名で自己紹介、バーベキュー、釣り及び島探検などで交流し、楽しいひとときを過ごしました。 参加女性のアンケート結果は、「楽しかった」が8名、「普通」が1名でした。</p>				
この事業を企画・実施した人	豊浜町まちづくり協議会のワーキンググループのメンバー				
苦労した点	女性の参加者を集めることです。				
活動状況	<p>島コン</p>   				

番号	72	団体名	豊浜町まちづくり協議会	代表者	伊藤 圭一
事業名	魔法のランプ事業			事業費	171,181円 (平成28年度実績)
事業の目的	<p>プロの音楽家やサッカー選手を招き演奏会やスポーツ教室を開催します。また、サンフレッチェ広島の公式試合を観戦します。</p> <p>これらの事業を通じて、音楽やスポーツに興味を持ち、元気で夢や希望にあふれる島っ子を育てていきます。</p>				
事業概要	<p>豊浜町の子供たちは、プロの活躍を生で見たり、指導を受けることがありません。スポーツや音楽の素晴らしさに触れて興味を持ってもらい、プロの指導により技術の向上を図り、一段上の世界を体験してもらいました。</p> <p>【参加人数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○テニス教室（平成28年8月8日（月）～10日（水）） 中学生11名 ○サッカー観戦（平成28年10月29日（土）） 中学生51名、引率者10名 ○サッカー教室（平成29年3月19日（日）） 小学生以下13名 ○きらきらコンサート （平成28年5月26日（木）・平成29年3月23日（木）） 中学生以下4名、高校生以上34名 				
この事業を企画・実施した人	豊浜町まちづくり協議会，豊浜まちづくりセンター				
苦勞した点	たくさんの方が参加できる時期及び指導員の都合などの調整です。				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>テニス教室</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>サッカー観戦</p>  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;"> <p>サッカー教室</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>きらきらコンサート</p>  </div> </div>				

番号	73	団体名	豊浜町まちづくり協議会	代表者	伊藤 圭一
事業名	伝統的料理の教室			事業費	42,526円 (平成28年度実績)
事業の目的	<p>高齢化の進行に伴い、冠婚葬祭等での料理も手作りすることが難しく、仕出しを取るようになり、豊浜町の食材を使った伝統的な料理も作られなくなってきています。このため、豊浜町の伝統的な料理（食文化）が消えていくのではという危機感から、これらを記録し、後世に伝承します。</p>				
事業概要	<p>豊浜町内の各地区に残る伝統的料理について、「豊浜町の伝統的料理」の冊子を作成した中で、伝統的料理を伝えるため、地元の住民の指導のもと、豊浜中学校の2年生を対象に伝統的料理の教室を開催しました。</p> <p>○開催日：平成28年12月8日（木） ○参加人数：中学校2年生17名 ○メニュー：巻き寿司、いなり寿司、ひじき、煮しめ、味噌汁</p>				
この事業を企画・実施した人	豊浜町まちづくり協議会のワーキンググループのメンバー				
苦労した点	学校の授業時間内で料理して、試食をしなければならないので時間配分に苦労します。また、季節によって手に入らない食材がありメニューが限られます。				
活動状況	<p>中学校2年生対象料理教室</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;">    </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> 巻き寿司 ひじき 煮しめ </div>				

番号	74	団体名	豊浜町まちづくり協議会	代表者	伊藤 圭一
事業名	歩け歩けウォーキングコース 命名プロジェクト			事業費	200,294円 (平成28年度実績)
事業の目的	<p>ウォーキングコースを認定し、町民の健康づくりや来町者へ豊浜町の魅力をPRするため、「とよはまウォーキングMAP」を作成していきます。 ビューティフルアイランド祭りや安芸灘とびしま海道ウォーキングなどの地域行事に合わせて配布し、豊浜町の魅力、新しい発見などを再確認していきます。</p>				
事業概要	<p>現在は5コース認定して、「とよはまウォーキングMAP」1・2を作成しています。 平成28年度は、豊浜町の大きな魅力のひとつである小野浦地区の路地を紹介する「小野浦迷路探検マップ」を作成しました。 豊浜町内外の方に路地を歩いてもらい豊浜町の新しい発見につなげます。</p>				
この事業を企画・実施した人	豊浜町まちづくり協議会のワーキンググループのメンバー				
苦労した点	細い路地が多くあり、迷路探検マップに載せる路地を選ぶ作業です。				
活動状況	<p>小野浦迷路探検マップ</p>  				

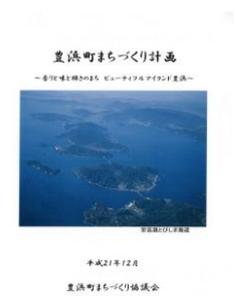
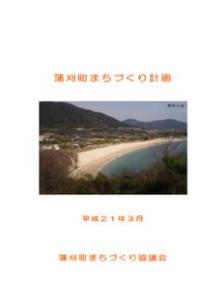
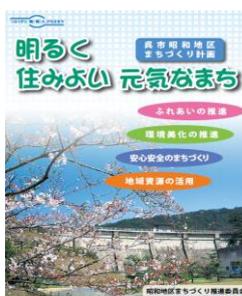
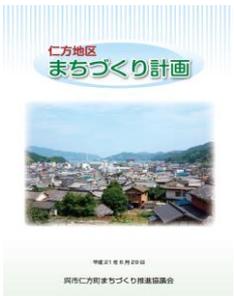
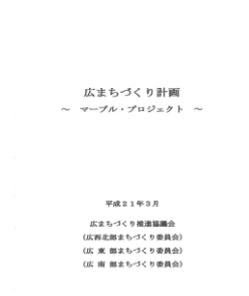
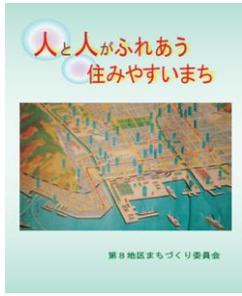
番号	75	団体名	豊浜町まちづくり協議会	代表者	伊藤 圭一
事業名	広島国際大学との地域提携			事業費	2,562円 (平成28年度実績)
事業の目的	地元高齢者が広島国際大学とコミュニケーションを持つことで、自分自身の健康状態を把握し、健康に関する意識を高め、明るく元気に日常生活を送ることを目的とします。				
事業概要	<p>広島国際大学による健康チェック、健康講座、健康体操を行いました。また、島での暮らしや生活の知恵についての意見交換を行いました。</p> <p>第1回瀬戸内イキイキプロジェクト ○開催日：平成28年10月8日（土） ○参加人数：地元住人20名、学生10名</p> <p>第2回瀬戸内イキイキプロジェクト ○開催日：平成29年2月18日（土） ○参加人数：地元住人32名、学生6名</p>				
この事業を企画・実施した人	豊浜町まちづくり協議会のワーキンググループのメンバー				
苦労した点	みかん時期なので収穫に追われ、人が集まらないことです。				
活動状況	<p>第1回瀬戸内イキイキプロジェクト</p>   <p>第2回瀬戸内イキイキプロジェクト</p>  				

番号	76	団体名	豊町まちづくり協議会	代表者	本末 満
事業名	第13回 豊町産業文化祭			事業費	450,000円 (負担金)
事業の目的	豊町まちづくり協議会策定「まちづくり計画」の振興方針「にぎわいと活力ある「ゆたかまち」をつくろう」に基づいて、産業（果実品評会や農産物・加工品バザー）と文化（舞踊、歌謡などの発表会）の祭りを実施する。				
事業概要	<p>日時：平成30年2月10日（土）・11日（日） 場所：安芸灘交流館（豊まちづくりセンター）及び周辺</p> <p>①開会式でのもちまき，呉氏との交流 ②産業部門 果実品評会（展示柑橘販売），柑橘販売，柑橘加工品（みかん味噌・みかん餅・ジャム・ケーキなど），野菜・漬物，健康祭り，輪投げ大会，もちつき，米すくい，射的大会，ビンゴゲーム，大抽選会，焼ガキむきカキ，唐揚げ，うどん，たこ飯，寿司，いぎす豆腐，たこやき，やきそば，別製アイス，クレープ，じゃこ天，礼文島海産物等販売。農業機械・印鑑の展示販売。</p> <p>③文化部門 謡曲・フラダンス・箏曲・舞踊・カラオケ・バレエ・コーラスの発表会 「中国雑技（変面・駒回し（中国駒）ステージ）」 絵画・押し花・写真・俳句・墨絵、豊小・豊浜中学校・ゆたか幼稚園作品展。</p>				
この事業を企画・実施した人	豊町まちづくり協議会，豊町地区社会福祉協議会，豊町産業文化祭実行委員会が主催であるが，特に，呉広域商工会青年部安芸灘支部豊地区の会員，文化協会の各種団体，豊市民センターが中心となって実施した。				
苦労した点	<p>会場の周辺が非常に狭く来訪者の駐車場の確保に苦慮した。 今年，初日が雨で来訪者の減少が懸念されたが，二日目は，天候も回復したことにより来訪者も回復して，実行委員会，出展者・参加者の連携・協力により盛大に祭りを実施することができた。</p>				
活動状況	 <p>開会式での餅まき大会</p>		 <p>果実品評会</p>		
	 <p>ホールでの発表会</p>		 <p>展示販売状況</p>		

番号	77	団体名	豊町まちづくり協議会	代表者	本末 満
事業名	第34回 豊町七夕納涼祭			事業費	2,400,000円 (負担金)
事業の目的	豊町まちづくり協議会策定「まちづくり計画」の振興方針「にぎわいと活力ある「ゆたかまち」をつくろう」に基づいて、ステージイベントや花火大会を実施する。				
事業概要	<p>日時：平成29年8月5日（土） 18時～21時 場所：小長港フェリーターミナル前広場他 参加者数：約4,500名 内容：「D's FACTORY」バンドライブ 「尾本 喜代美」ステージ 「栗田 けんじ」ものまねステージ 「呉氏（呉市PRキャラクター）」ステージ 小長港の沖合いに台船を浮かべ、2,000発の海上花火大会を実施</p>				
この事業を企画・実施した人	豊町まちづくり協議会，豊町地区社会福祉協議会，豊町七夕納涼祭実行委員会が主催であるが，特に，呉広域商工会青年部安芸灘支部豊地区の会員や呉広域商工会豊支所が中心となって実施した。				
苦労した点	<p>この大会は地元の商工会加盟店や各種団体・個人に協賛金として約150万円集めて実施している（残りはまちづくり協議会からの助成金）。そのための集金活動が非常に大変である。</p> <p>このイベントは、とびしま海道の島以外からの来客も多数おり、今後はさらに、とびしま海道の納涼祭としての位置づけとするためにも、下蒲刈・蒲刈・豊浜地区等の団体や個人にも協賛金をお願いしているが、なかなか協力を得るのが難しい。また、これら地区外からのお客様の駐車場確保は大きな課題となっている。</p>				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">ステージイベント</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">花火大会</p>				

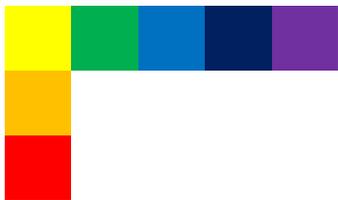
番号	78	団体名	豊町まちづくり協議会	代表者	本末 満
事業名	豊町町民運動会			事業費	100,000円 (負担金)
事業の目的	豊町まちづくり協議会策定「まちづくり計画」の振興方針「人々がふれあう「ゆたかまち」をつくろう」に基づいて、地区別対抗戦による町民運動会を実施する。				
事業概要	日時：平成29年6月11日（日） 場所：豊小学校グラウンド 内容：8地区に分かれて競技する。グラウンドゴルフ、満水競争、リレー、タル転がし、玉入れ等の競技がある。 参加人数：約1,000人				
この事業を企画・実施した人	豊町地区社会福祉協議会、豊町体育協会、豊市民センターが中心となって実施した。				
苦勞した点	住民の高齢化により、例年9区対抗で実施していたが、8区対抗での実施となった。高齢化に対応するため、種目の変更や距離等の変更が生じている。しかし、それでも選手集めが大変であるが、実施した後の反省会の実施により和気あいあいとした、地域コミュニティには欠かせない豊地区の伝統行事である。				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>選手入場</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>選手宣誓</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>小中学生リレー</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>玉入れ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>地区対抗リレー</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>閉会式</p> </div> </div>				

(参考) 地域まちづくり計画



地域の共有する夢（地域の将来像，地域課題の克服等）の実現に向け，おおむね5～10年間で取り組むべき地域の構想で，地域住民の総意に基づいて住民自身（まちづくり委員会）が策定したものです。この計画に基づき，地域自らが主体となったまちづくりが進められています。





ゆめづくり事例集2017

発行：平成30(2018)年2月

編集：呉市市民部地域協働課
各市民センター

